

## 6月29日(土) 第63回総会 心ズキズキワクワク

### 小山 堅さん (76期) が講演

#### 演題：激動の内外エネルギー情勢をどう見るか

関東同窓会では6月29日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第63回総会を開催します。昨年同様、コロナ禍以前の形式での開催となります。小山堅さんの講演に続いて総会、アトラクションは鏡味正二郎さんの太神楽と、同窓生で立川流の落語家、立川談慶師匠(82期)の夏の一席、そして立食形式での懇親会です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

### 太神楽と落語も 立川談慶師匠の演目は



小山 堅さん

講師の小山堅さんは、上田三中出身で高校時代は軟式テニス班、早稲田大学院経済学研究所修士課程修了後、(財)日本エネルギー経済研究所に入所し、国際エネルギー情勢の分析とエネルギー政策の研究に邁進され、2001年には英国ダンディ大学博士号(PhD)を取得、現在、専務理事 首席研究員として活躍されています。2023年にはOPEC(石油輸出機構)賞の研究賞を受賞されました(アジアからは初めての受賞者、会報107号参照)。講演会では、エネルギーを巡る国際情勢の変革期で厳しさを増す世界のエネルギー地政学において、政治・経済・社会の現実を冷静に読み、変化を見据えた対応を打つための前提となる最新のエネルギー情勢についてお話ししていただ

く予定です。

総会に続いては、落語の前座として、江戸末期からの寄席芸能(伝統芸能)である太神楽を太神楽曲芸師の鏡味正二郎さんに披露していただきます。そして立川談慶師匠(82期)の落語です。談慶師匠は2020年の新年会以来4年ぶりの登場です。演目は当日のお楽しみみです。存分に楽しんでいただけるはずです。

懇親会は卒業期ごとにテーブルを用意します。同期会としても交流を深めていただけますので、ぜひ、第63回総会へご参加ください。



立川談慶さん

### 第63回総会

【日時】 2024年6月29日(土)  
11:00 受け付け開始  
12:00~16:30 講演会、総会、太神楽・落語、懇親会

【会場】 千代田区一ツ橋2-1-1 如水会館 ☎03-3261-1101

【会費】 8,000円(100期以降は6,000円)、学生は無料

【交通】▶地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線の神保町駅下車 A8, A9出口 徒歩4分  
▶地下鉄東西線の竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分

## 第63回総会に寄せて

関東同窓会会長 矢島基美 (72期)



矢島基美会長

いよいよ関東同窓会第63回総会が近づいてまいりました。その概要につきましても、本号の案内記事などをご覧いただくこととして、ここでは、会長としていくらかご挨拶申し上げることにいたします。

会長に就任して1年、同窓会なしいは同窓会活動といったものについて思いをめぐらせることが少なくありませんでした。私自身、ここ10年ほど、出身大学における学部同窓会の結成や運営に携わってきたが、そこでも、同窓会なるものの存在意義とともに、どこか限界のようなものを感じることもあったのです。そして、つい最近、そのような思いを改めて抱かせる出来事がありました。

まだ肌寒い2月半ば、戦後憲法学を牽引された碩学のひとり、故芦部信喜先生の生前の学術資料を調査するため伊那谷に向いた折のことです。芦部先生は旧制伊那中学、現伊那北高校のOBで、そ

のご縁から、芦部先生の学生時代の講義ノート、助手時代の研究ノートなどの一部が母校同窓会に寄贈されました。それらの貴重な資料を閲覧する私どものために、伊那北高校同窓会が所有し、管理する同窓会館の一室が用意されました。

この同窓会館は、校地に隣接して2棟並んだ2階建てのうちの新棟に当たる1棟でしたが、実は同校のOBでその学校長を務めた方の高額な寄付を基に、同校創立90周年記念事業として特別研修施設用に建設されたものです。その由緒を記した扁額が玄関脇に掲げられているため、課外の自主学習で日常的に利用する現役生徒たち

もそうした事情をよく知っているようです。母校愛といえればそれだけの話かもしれませんが、同窓生に思いを致す篤志の高さのほどには大いに感じ入るものがありました。

その一方で、滞在中、同校の先生にお伺いした話には驚かざるをえません。上伊那農業高校、駒ヶ根工業高校を含む実業系の4校(科)の再編統合のみならず、伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校も4年後を目途に統合するというのです。もちろんその背景に今後さらに進行する少子化があることは明らかで、上下地域でも同様の動きが生じないとは限りません。

2024年総会に向けて  
総会実行委員長 鶴澤省一 (76期)

鶴澤省一さん

第63回総会の実行委員長を務めさせていただきます鶴澤省一(76期)です。昨年は5月に新型コロナウイルスが5類に移行してコロナ明けの年となり日常を取り戻すスタート

の年となりましたが、今年はウクライナ侵攻の長期化、イスラエル・ハマスの衝突に加えて1月1日に能登半島地震が発生し、いまだ復旧の過程にあり日常が取り戻せない地域、方々が多数いらっしゃると思います。私も1月1日は上田の実家に滞在しており長時間の横揺れに驚きました。関東同窓会の会員、上田高校卒業生の被災された

はなく、時代や社会の変化による影響をおのずと受けることにもなります。そのことを十分に認識しつつも、母校の歴史や伝統、気風や気概、さらにいえば、卒業生ならではの誉れや誇りといったもの一体どのように転じていくことになるのでしょうか。

そして、そのことは、今般のごとき統合再編の場合に限らない気がします。高齢化によって世代が広がり、それにとまなう人生観、価値観などの違いを前にするときに、そもそも同窓会は、いかなる目的のために存在するのか、そこで想定される目的をもってすれば幾久しく存続していくものなのか、当たり前のように思われていない、なかの難問を、少しでも解いていくことが今の私たちには求められているように思われてなりません。

方、影響を受けご苦労されている方に謹んでお悔やみを申し上げるとともに心よりお見舞い申し上げます。

今年の総会は昨年に続いて「講演会」「総会」「アトラクション」「懇親会」のフル形式での開催となります。実行委員は76期、81期を中心に86期、91期、96期にて務めさせていただきます。暗い世相を吹き飛ばすべく実行委員一同頑張る準備を進めております。講演会は一般財団法人日本エネ

ルギー経済研究所の小山堅専務理事(76期)に「激動の内外エネルギー情勢をどう見るか」をテーマに話していただきます。小山さんは東京大学公共政策大学院客員教授、東京工業大学科学技術創成研究院特任教授も務めており、昨年に石油輸出国機構(OPEC)賞の研究賞をアジア人として初めて受賞した国際エネルギー安全保障の第一人者です。

アトラクションは今年も趣向を変えて上田市出身の立川談慶師匠の落語と鏡味正二郎さんの太神楽を予定しています。にぎやかなひと時を楽しんでいただくとともに、懇親会では旧交を温めていただければ幸いです。

76期は今年人生の大きな節目を迎える65歳となります。私ごとですが昨年上田の実家の敷地内にセカンドハウスを建てて月1、2回は上田に滞在しており、高校までに過ごした時代と比べて中心市街地の衰退の半面、大型ショッピングセンター、ロードサイド店舗の充実によって暮らしやすくなっていくことを実感しています。今後はさらに上田での生活のウェイトを高くして本部の同窓会活動にも参加して関東同窓会との交流の一助になればと考えています。関東同窓会会員の皆様のご健勝と関東同窓会の一層の発展を祈念しております。



# 副実行委員期のご挨拶と81期の皆様へ

## 第63回総会

今年、辰年のはじまりは決して穏やかではありませんでした。私たち81期はこの辰年、巳年生まれの学年です。世間的には還暦を迎える年で、人生の転機を迎える方も多いと思います。

私たちが関東同窓会総会に初めて出席したのは、前回の辰年より少し前だったと思います。その時は、仕事や子育てに少し余裕ができたこともあって何となく参加したのですが、「思ったより楽しいな」と感じたのを覚えています。それ以来、出席できる時に無理なく参加し、その度に久々の再会や世代を超えた交流など楽しい時間を過ごし、元気になる気がします。そしてあつという間に干支がひと回りした今年の総会は、ついに副実行委員期となり大変緊張しています。

関東同窓会では高校時代には考えられなかった出会いや再会があります。先輩後輩、また当時は話したことがなかった同期など、交流は思いのほか楽しく、話してみると意外なつながりがあったりして驚くこともあります。まだ参加されたことのない同期の方も多数いらっしゃると思いますが、最近は前後2〜3年がまとまって交流会などもあり、何となくですが若

返る(気がする)ようにも思います。年に一度の総会は、初めて参加される方、久しぶりの方も楽しんでいただける会になるよう考えられています。

そして……ここで同期の皆様にご挨拶させていただきます。今年6月29日(土)総会当日は、受け付けや会場準備など人手が必要になります。お手伝いしてもいいよーという方が少しでもいてくださったら嬉しいです。お手伝いは当日ご参加いただけるだけで大丈夫です。事前の連絡はメールなどで、なるべくお手数をおかけしないように致します。下記のQRコードからメールにて参加表明していただけるだけで結構です。



第63回総会副実行委員期(81期)の左から横関正人さん、服部みどりさん、石田みどりさん(新年会で)

## 総会アトラクションの紹介

今年の総会アトラクションは82期、立川流・立川談慶(たてかわだんけい)師匠による落語をメインに前座には談慶師匠が懇意にしている太神楽(だいかぐら)曲芸師の鏡味正二郎(かがみせいじろう)さんによる太神楽を披露いただきますので併せてお楽しみください。

立川談慶師匠は本名青木幸二、丸子町に1965年に生まれました。上田高校に入学後一年次に山梨県の駿台甲府学園付属甲府高校に転校しその後、慶応大学経済学部に進学し大学では落語研究会に所属。大

学卒業後は(株)ワコールに就職しましたが落語への情熱が冷めず1991年に立川談志師匠に弟子入りし立川ワコールなる前座名で修業、2000年の二つ目昇進を機に談志師匠の命名で立川談慶に改名。2005年には晴れて真打

上田高校関東同窓会 81期代表幹事  
横関正人 服部みどり



ち昇進が成り現在まで活躍中です。

今後はこれまで温めていた年相応の人情物も積極的に演じていきたいと意欲的な様子。総会での演目は後日の決定となりますが談慶さんの会場を一色に染めていく話芸にご期待ください。

一方、前座の太神楽は古くは神事としての神楽の一種であったものが江戸時代末期から寄席芸能として広く大衆の人気を集め発展した曲芸です。お正月のような祝いの日に傘で毬や枡を回したり、くわえた撥(ぼち)の上に土瓶を乗せたりする芸ですが一人前になるまでは15年もの年月を要すると言われています。

鏡味正二郎さんは本名 松田正史、埼玉県新座市に1972年に生まれ1995年に国立劇場の太神楽人材育成コースにて第一期生として研修を開始。1998年にボンボンブラザーズ鏡味繁二郎師匠に入門し現在まで活躍中です。甲高い声でコミカルな表情の正二郎さんによるハラハラドキドキの曲芸をお楽しみください。

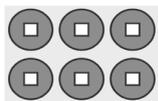
(金井 正二郎)



鏡味正二郎さん

# 76期

## 祝! 第63回総会



### 76期有志一同

今年は私たちが総会実行委員当番期です  
76期一致団結して総会・懇親会を成功させましょう!  
皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

2024年は「ジェンダー革命」「性差別撤廃」の年です。  
夫婦別姓訴訟、同性婚訴訟、性同一性障害など、重要な裁判が目白押しです。日本が、1日も早く国際的な標準に到達し、差別や不平等がない社会になりますように……

千代田区神田小川町1丁目1番地  
〒101-0052 山碁ビル8階 山浦法律事務所  
弁護士 山浦善樹 (63期)  
TEL 5244-5372 [yamax@nn.ij4u.or.jp](mailto:yamax@nn.ij4u.or.jp)

# 魅せられた小林さんの演奏

## 76名参加 新年会の報告

上田高等学校関東同窓会は1月20日(土)に東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館内、喜山俱樂部にて恒例の新年会を開催した。4年ぶりとなる立食形式の懇親会を復活させることができた。53期から115期まで76名の会員が参加した。

開会に先立って、元日に発生した令和6年能登半島地震の犠牲になられた方に対して黙祷を捧げた。第1部は矢島会長の挨拶後、115期の小林公哉さんによるピ

ブラフオンとスネアドラムの演奏(友人の山口静夏さんのピアノ伴奏)を行った。ピブラフオンの神秘的な音色に酔いしれ、想像と全く異なる日用品を使ったスネアドラム(いわゆる小太鼓)の演奏に驚き、加えて軽妙な小林さんの語りに魅了された。アンコールを含めた全8曲はバラエティーに富んだ構成でどの曲も素晴らしかった。「ふるさと」は信濃の国の4番が組み込まれ、「校歌」は全員起立で合唱し、「真田丸」には

心が躍った。第2部の懇親会は、待ちかねた立食形式、新型コロナが5類に移行され、4年ぶりの復活だった。石井光春相談役(54期)の乾杯挨拶で和やかな新年の宴が始まった。一通り料理とお酒を楽しんだ頃合いで、最年長参加者の馬場正彦さん(53期)にご挨拶をいただいた。続いての第1部演奏者の小林さんとの質疑応答では「天国の音楽だった」との感想も出て盛り上がった。小林さんの同期で最年少参加者の山極優希さん(115期)も一緒に壇上にあがり挨拶をいただいた。



能登半島地震で黙とうをささげる参加者



小林さんのピブラフオンの演奏

歓迎は途切れることなく続いたが、お開きの時間が迫り、校歌の斉唱を行った。小山勇副幹事長(92期)と掛川洋二さん(72期)のリードで(第1部での練習?の成果もあり)よどみなく大きな声で歌い上げた。最後に、第63回総会(6月29日開催)の副実行委員長長の横関正人副幹事長(81期)と同期の石田みどりさん、服部みどりさんが壇上にあがり、横関さんから決意表明と参加要請があった。こうして新年会は盛会の内にお開きとなった。



懇親会の様子

### 能登半島地震で義援金

上田高等学校関東同窓会は、新年会終了後、令和6年能登半島地震の義援金の募金を行い、集まった31,600円は毎日新聞社を通して被災地に役立てられる。

社会事業団への寄託	5万円	江東区	匿名
能登半島義援金	4万円	大田区	匿名
勝さん	3万1600円	国	
中央区	1万3000円	上田高等学校	
関東同窓会	3万円	国	
分寺市	1万2000円	国	
万4000円	江東区		
文真歩さん	2万円		
大田区	1万円	北區	高
平弘さん	1万円	江川	
清さん	1万円	新橋区	
区	1万円	新橋区	
子さん	1万円	加藤綾	
子さん	1万円	酒井幸	
子さん	1万円	佐藤	
正さん	1万円	廣	
田洋さん	5000円		

2024年2月2日の毎日新聞朝刊東京版

# アクト法律事務所

〒107-0052  
東京都港区赤坂3丁目9番18号  
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階  
TEL: 03-5570-5671 (代表)  
FAX: 03-5570-5674  
【最寄りの交通機関】  
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長) 岩井 重一(62期)  
弁護士 安田 隆彦  
弁護士 平澤 慎一  
弁護士 波戸岡 光太  
社会保険労務士 岩井 信也



# 新年会に参加して

## 楽しい音楽のひとつとき

小林公哉さん

(115期)

この度は素敵なご縁をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。この機会を通じて、母校の同窓生の皆様と楽しい音楽のひとつときを過ごすことができました。

演奏をさせていただいた際には、皆様から温かい拍手やお言葉をいただき、私にとっても貴重な経験をさせていただきました。皆様の笑顔や楽しい時間を共有できたこと、その喜びを分かち合えたことに心から感謝しています。

演奏させていただいたプログラムは以下の通りです。素晴らしいピアノリストの山口静夏さまに共演いただきました。

G・ガーシユウイン作曲 3つの前奏曲

G・ロシンスキ作曲 "SynC" for Solo Snare Drum

Z・アブレウ作曲 ティコ・ティコ

E・モリコーネ作曲 愛のテーマ  
ニュー・シネマ・パラダイス



小林公哉さん



山口静夏さん



山極優希さん

岡野貞一作曲 小林公哉編曲 ふるさと

岡野貞一作曲 上田高校校歌  
服部隆之作曲 「真田丸」メインテーマ

アンコール 山本直純作曲 男はつらいよ

そして懇親会では、多くの同窓生の皆様と交流することができ、世代を超えた共通の話題などを共有することができました。このような場合は、同窓生にとって大切なつながりを築く機会であり、これからも続けていくべきものだと感じました。

こちらの会で宣伝させていただきました3/7の私の演奏会には、多くの同窓生の皆様に足をお運びいただきました。まだまだ東京での活動が浅い自分にとっては、同窓生の皆様にご来場いただくことは、非常に励みになります。この場を借りて御礼申し上げます。

最後に、この素晴らしい機会を提供してくださり、また温かい歓迎のご支援をいただき、関東同窓会の皆様に心から感謝申し上げます。今後も母校での教えを胸に、「試百難」の気概で精進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

します。

山口静夏さん

みんなで作り上げたコンサートで楽しかったです。

## 同期の演奏、最高

山極優希さん

(115期)

新年会では有意義なひと時を過ごせました。小林公哉さん(115期)らによる演奏は、フツツと笑ってしまおうようなトークや演出も含め最高で、この日までに彼がどれほどの時間と魂を音楽に費やしてきたかを容易に想像させました。また、懇親会では多数の方々と言葉を交わすことができました。さて、懇親会中盤、私は先輩方に背中を押されながらマイクを握りました。「応援練習をどうにかしたい」。実は、在学当時、私は新入生として応援練習を経験し、二年後これを運営しました。大学に進学し社会の過酷さや不合理的を学び志半ばで上田に帰省した後は、この一連の体験から感じざるを得なかった疑問を度々反芻するようになりました。高校の歩みを提示し問いかけ続けることが、生徒諸君の意思決定を真の意味で尊重するため我々同窓生にできることなのではないかと考えた次第です。同期の演奏を聴きながら、心の中で止まっていた時計の

針を進められる気がしたのでした。

## 松尾倶楽部たより

松尾倶楽部はコロナ禍で長らく自粛しておりましたが、活動を再開しております。この9月に第175回例会として上田方面日帰りバスツアーを実施します。コロナ前に好評をいただいた例会講演母校の大先輩「五島慶太と……」のあと生誕の地である青木村に記念館が開設されました。今回は、その「五島慶太未来創造館」を訪ね、その後昨年の関東同窓会総会でも好評だった上田高校吹奏楽団のOBOG会である松奏会創設10周年記念コンサートを鑑賞します。今回は現役と同窓生のジョイント、プロの同窓生も参加して上田サンコミュニティにて、大ホールで初めての開催となります。倶楽部会員がおりますので、車中ガイドンも予定します。

詳細は近々発行の会報でご案内します。

なお、11月の例会は日本経済関連の講演会を予定します。

松尾倶楽部代表幹事 近藤正昭 (69期)

松尾倶楽部ホームページ：  
<https://matsuo-clubjimndofree.com>

**櫻田法律事務所**

弁護士 櫻田 喜貢穂 (65期)  
弁護士 今井 亮 (野沢北高校)

〒102-0092  
千代田区隼町2-17 バレスサイド千代田3F  
Tel. 03-3512-3562 Fax. 03-3512-3563  
E-mail : sakura@sakurada-jimusho.com

**祝！ 第63回総会**

**81期**

81期有志一同

今年は私たちが総会実行委員当番期です  
81期一致団結して総会・懇親会を成功させましょう！  
皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

# 第41回ゴルフコンペ開催される

## 千葉CC川間コース

第41回上田高校関東同窓会ゴルフ同好会のコンペが、4月5日(金)に名門千葉CC川間コースで、参加者20名で開催された。当日は、気温11度、小雨模様の花冷えの中であつたが白熱した競技となつた。前回40回の記念大会は、昨年10月25日(水)に東京都小平市にある名門小金井CC



朝雨天のため集合写真は懇親会后に

で参加者40名という大コンペであつたが、今回はその半分の人数ながらその腕前は中々のものであつた。特に優勝した石井光春さん(54期)は、今年87歳になるにも関わらず、ショット、パットとも絶好調で「これぞ熟練した技だ」と同伴者を唸らせた。次の年長者で1歳年下の宮島光男さん(55期)は、「石井さんと永遠のライバル関係にあり、石井さんが素晴らしい成績で回つて来たので、今後ますますやる気が出た」と言つていた。一緒に回つた筆者から見ても宮島さんのドライブ、アイアンは迷うことなく振り切るのでその思い切りの良いスイングに驚愕した。成績は、優勝は石井光春さん(グロス97、ネット61)、準優勝は山浦直次郎さん(61期)(グロス102、ネット67)、3位は丸山暢久さん(65期)(グロス86、ネット

70)で、丸山さんは、ベスグロでもあつた。NP賞は不肖古畑が3本、山浦さんが2本、山岸さんが1本、橋詰さんが1本獲得した。優勝した石井さんは、優勝スピーチで「ここ最近体調が思わしくな

い中で優勝出来たことは本当に嬉しい。優勝トロフィーを家に持ち帰り女房に見せたい」と夫婦円満ぶりも披露した。準優勝の山浦さんは「丸山暢久さんからゴルフの手解きを受けて、何となくゴルフが分かってきた」と話された。3位の丸山さんは「毎回優勝を狙っているが、ベスグロもそれに劣らず名誉な事で、今回それが達成できて満足している」と挨拶された。



満開の桜



優勝の石井光春さん(54期、左)と幹事代表の古畑克巳さん(69期)

今回の特徴として、前回の記念大会を機に、春の千葉CCで桜を見てプレーしたいと言う方が4名(由井崇さん61期、福内敦さん73期、土屋元一さん73期、矢ヶ崎毅さん80期)が初めて参加され、これまで以上に盛り上がったコンペとなった。特に由井さんは遠く北海道から参加され、懇親会で当地の現在の様子を披露し参加者一同冬の北海道の大変さを知つた。

次の第42回ゴルフコンペは、昨年秋季と同様に小金井CCで、10月23日(水)に行う予定

- 1. 開催日: 10月23日(水) 予約 12組 48人 スタート時間 8:30
- 2. 開催場所: 小金井CC 東京都小金井市
- 3. 料金: 23,420円 プレ1代のみ 昼食代別
- 4. 参加費: 4,000円(コンペ・賞品代)
- 5. ドレスコードあり、35歳以下はプレー不可
- 6. 申込先: ゴルフ同好会幹事 古畑克巳 jlc3685\_b8@gold.zeio.jp

ゴルフ同好会幹事代表

古畑克巳(69期)



# やまびこ句会

春になると次々と草木が芽を出し、さまざまな花が人を楽しませてくれる。我が家の庭には早春に露の臺が顔を出すので、天麩羅や露味噌となつて夕膳にのぼる。近くを散歩すると、黄色のミモザや白い辛夷の花が咲き満ちて、気持ちを明るくしてくれる。春は実に良い季節だ。

山菜莢やまばたくたびに花ふえて  
森澄雄

猫柳ほつほつ家に受験生  
森澄雄

わが師森澄雄の句はやさしく誰

## やまびこ句会(10月〜3月)

- 妻の炊く少し硬めの栗おこわ (貴美)
- 霜の朝挨拶くれる子らの群れ (芙紗)
- 金婚を孫子と過ごす良夜かな (正雄)
- 蒼天に白き浅間の淑気かな (一江)
- 被災者の声に涙す能登の冬 (泰男)
- 美容院鏡の横にヒヤシンス (平六)
- 人を待つ春まだ浅き有楽町 (孝昭)
- 蹲の上に残れる落椿 (隆治)
- 茶室はも春なつかしむ異空間 (前歩)
- 平安の王朝絵巻春を呼ぶ (正佳)

源氏物語展

### 女性会員交流の昼食会実施!

会員交流委員会副委員長

石黒久仁子(80期)

児玉一江(62期)

が読んでも難しくない。見て、その時その時の思いを俳句にしている。表面的にはそのままのようである。単純だが、理屈を消して、それぞれの生き方に即して句を作る、師の教えは今も脳裏に浮かぶ。さて、やまびこ句会も十年以上続いているが、メンバーは殆ど替わらず皆毎月、熱心に俳句に取り組んでいる。日々の生活の中で季節の移ろいを感じ、五七五の言葉

2023年度より

女性同窓生交流委員会は全体の会員交流委員会と統合され、竹花真理子(78期)、鈴木巳季(80期)、阪下千恵(93期)の各氏が女性同窓生の皆さんの交流を担当することとなりました。「女性同窓生の会」は2020年からはじめから続いたコロナ下での活動自粛で2回の延期を余儀なくさ

れていました。青沼委員長・四方委員をはじめとする皆さんのご尽力で、2022年10月に13回目となる素敵な講演会・懇談会を開いていただきました。

今年度から担当のわたくし達委員4名はミーティングを重ね、また女性会員の皆様に「FEM」を通じたアンケートを実施いたしました。アンケートからは、さまざまな交流機会のご提案があり、更に参加可能なスケジュール(曜日や時間帯など)が多岐にわたるなどの状況が浮かび上がってきました。

この結果を受け、今年度は関東同窓会の幹事会や役員会、また新年会で集う神保町の教育会館ビル内にある、泰南飯店での昼食会を計画・実施いたしました。

開催日の3月30日はちよ

うど桜が満開の予想でしたが、今年の春は雨天も続き桜の開花が通常より遅れてしまいました。前日まで雨も続きお天気が大変心配されましたが、当日はとても暖かい晴天! 久しぶりの会の開催をとて楽しみにしていただいたくし達委員の心もより一層明るくなりま

した。合計13名の参加者(67〜85期の方々)が、美味しい中華料理のランチをいただき

きながら歓談し、あつという間の2時間を過ごしました。ご参加くださいました方の中には今回初めていらした方もいらっしゃり、とても楽しい昼食会となりました。

会は前年度まで委員長としてご尽力くださいました青沼前委員長の挨拶で始まり、その後2つのテーブルに分かれて活発な歓談をいたしました。食事も終わりに近づいた終盤、ご参加くださった皆さんからそれぞれの自己紹介・近況報告を伺い、改めて久しぶりの、また新たな交流を深めることができました。そして最後に、上田高



女性会員交流の昼食会で

## 新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会元会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町2丁目3番1号  
岩波書店アネックス8階 〒101-0051  
電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361  
http://www.shin-chiyoda.jp/

ただき会を終りました。ご参加くださった皆さん、また運営をお手伝いくださった皆さんに心から御礼申し上げます。今回の昼食会にはスケジュールのご都合でご参加できなかった会員の方も多数いらっしゃいました。皆さんのご意見やご都合をお伺いしながら、今後も交流の機会を計画・実施していきたいと思っております。ご提案やお問い合わせがありましたら、最終ページの連絡先までご連絡ください。同窓会の活動を通じて、皆さんにお会いできますこと、楽しみにしています。これからもどうぞよろしくお願

## 日本最大の美術展覧会

## 「日展」を見に行こう

会員交流委員会では、この秋のイベントとして、11月に開催される「日展」を解説付きで鑑賞する会を企画します。

「日展」は明治40年から続く日本最大の美術展覧会で、一般から公募する作品とプロの日展会員の作品が一緒に展示されます。

去年11月、六本木にある国立立美術館で開催された展覧会では日本画、洋画、彫刻、工芸美術そして書の5部門合わせて3000点の作品が展示されました。私が行ったのは金曜日の夕方でしたが、2階と3階に設けられた広い会場では結構多くの人が作品を鑑賞していました。

主に彫刻部門を、日展特別会員彫刻家73期堀内秀雄さんの案内

を見て回りました。彫刻といっても作る素材がブロンズ、石膏、焼き物、プラスチックなど多岐にわたっていることにまず驚きました。遠くから見てわからないものも、近づいてみると、素材によって光沢や色合いに違いがあることがわかりました。写真は堀内さんの出展作品ですが、石膏が素材です。等身大ですが、こんな大きなものをどうやって型を取って作っていくのか、といった疑問も堀内さんの解説でよくわかりました。

ただ見て回るだけではわからない美術作品もプロの解説付きで鑑賞すると違う世界が見えてきます。そんな体験を同窓会会員のみなさんにも味わっていただきたい、というのが今年秋の鑑賞会で

す。日本画や洋画なども人数がまとまれば案内役がついてくれるそうです。日程など詳しくは決まり次第、関東同窓会のホームページなどでお知らせしますので、どうかご期待ください。  
(会員交流委員会 73期 掛川治男)

## 生き方の多様性を知る

## 72期同期会 関博明

4年ぶりに開催した同期会についてご報告をします。

2023年11月24日(金)に、新橋の同窓生がよく利用される居酒屋「尾和」(オーナーが85期尾和正登さん)で開催しました。

同期会は、4年前までは毎年秋に開催してきましたが、コロナ禍の影響で2020年以降途絶えていたので、待ちに待った開催でした。幹事は毎回私が担当してきましたこともあり、今回も引き続き担当しました。

当日は休日の合間で参加人数が心配されましたが、19名も参加されました。現在の関東同窓会長の矢島基美さんも参加されました。また女性の参加者は7名でした。高校時代1クラスに5名の全学年でも40名だったことを思えば、本同期会は女性も参加しやすい会と言えます。

この会は畏まった近況報告等イベントはありません。4年ぶりの開催とは言え、皆さん顔なじみになつていたので、和気あいあいとそれぞれが席を移動して話したい相手と話す形式です。今回はお一人、上田市からわざわざ参加していただきました。長谷川正之氏(旧3組)です。上田市を元気にするための活動をされていて、活動状況を紹介されました。我々が東京に出てきて50年。今憂いているのは上田市に元気が感じられないこと。上田市に活気が戻るよう長谷川さんや同窓の活動に期待が膨らみました。

高校時代は一言も交わさなかった間柄であっても同窓と言う共通項で、素敵な時間を共有できるのです。上田高校OBの仕事や生き方の多様性を知ること、自分の人生にも幅が広がることを体感しています。

この素敵な体験を20、30歳代の若い後輩たちに知っていただきたいです。そこで、私の経験をこの場を借りて簡単に書いてみます。

後輩のみなさんも多分クラス単位や班単位で、数人で会うことがあると思います。72期も元々はそうでした。私はこの友人の輪を広げたいと思立ち、他クラスの友人や班の集まりをたどっていきました。それが2クラスそして3クラスと広がっていったのです。今



72期同期会で

では8クラス中7クラスの人が参加してくれています。クラスを越えた同期の仲間となつて、仕事や趣味、時には困りごとのヘルプまで、繋がりやすさをつくづく感じております。

後輩の方で私のやってきたことに共感される方もいらっしゃるのではないですか? ぜひやってみましょう。関東同窓会は、そのような方の支援を行っています。ぜひ同窓会事務局または、事務局経由で私にご連絡ください。サポートいたします。

72期は、今年も同期会を開催します。今年も元気に再会したいです。

第10回日展(2023) 或るカノン-理の選択  
堀内秀雄



# 幸村公の末裔が講演

## 62期主催「歴史講演会」

2023年11月1日(水)、関東同窓会の62期主催としては初めての「歴史講演会」を文京シビックセンターで開催しました。講師

にお願したのは、62期岩井重一さんの知人で真田幸村公14代目末裔であり、仙台真田氏13世末裔で現当主である真田徹氏です。当日は62期生の他、関東同窓会や赤松小三郎研究会、郷友会などからの参加協力を得て計31名の方々にお集まりいただき、真田徹氏ならではの講演を聞いていただきました。

主催者として事前の会場確保手配や配布資料等の準備、参加への誘い、当日の会場セット、受け付け、今半すぎ焼弁当や飲み物など昼食配布などの任務分担を行って万全を期し、司会は岩井重一さんが担当しました。

講演の内容は、真田氏のはじまりから、歴史に名高い真田三代(幸隆・昌幸・幸村)の業績、そして仙台真田氏の誕生について、



講演する真田徹さん(左)

第二次上田合戦・関ヶ原の戦いなどにも及び非常に幅広いものでした。特に、真田氏を武

田家の一家臣から独立した戦国大名へと発展させた真田昌幸についても詳しい解説をしていただきました。

真田幸村の家系図によれば、幸村には正室側室との間に13人の子女がいますが、その内の娘たちは後にそれぞれが方々に父幸村の墓をそれぞれ建立するなどして真田家に貢献しているそうです。そこで、この講演会の結論は「持つべきものは娘」だと感じた次第でした。

講師の真田氏は、河出書房新社から「真田幸村の系譜」を出版しておられ、上田市の観光大使なども務められておられます。

62期では、今まで旅行に出かけたり懇親会などをしてきました。が、今後も今回のようにいろいろな企画を計画していきたいと思っています。

この講演会に出席した同期の栗山正雄さんは、この講演会の感想を自身のフェイスブックに次のように投稿していますので本人の了解を頂き、以下に加えます。

「思っていた以上の興味深い情報が得られた。『伊達政宗はなぜ幸村の子女達を引き受けたか』『幸村正室竹林院は九度山で、男2人、女5人の子をもうけ、内大

八が片倉家に保護され、片倉守信を名乗る』『守信が仙台真田家の祖、講演者はその13代目』等々。特に『以前京都竜安寺で、なぜ幸村の墓があるのか疑問を持ったが、その謎が解けたこと』また幸村の流れを絶やさぬよう竹林院の働きが大変大きかったという説明が大きな収穫であった」

## 赤松小三郎研究会

●第10回赤松小三郎講演会のご報告

研究会設立10周年の記念となる今回の講演会は、昨年11月26日(日)、町田明広神田外語大学教授を講師にお迎えして、日比谷図書文化館で開催されました。演題は「幕末政治と赤松小三郎」。当日は103名のご参加(同窓生24名、一般79名)をいただきました。以下、講演で印象に残った点を紹介します。

・赤松小三郎は「建白七策」を建白した政治変革家としての側面が強調されるが、むしろ軍事戦略家としての側面を再認識したい。

・浅津富之助(加賀藩士)と共訳した「英国歩兵練法」(下曾根権古場蔵版、慶応二年)は、イギリス式の兵学の日本における最初の公式的な存在。赤松が軍事戦略家としてトップランナーだった証拠であり、私たちは再評価すべき重

要な点。そして、これが薩英戦争を経験した薩摩藩が赤松に注目する最初の可能性になったと考えたい。

・赤松も力を注いだ「幕薩一和」運動は、幕末政治における画期的な出来事で、実は形を変えて大政奉還運動に連動し、更には大政奉還後の小松帯刀や坂本龍馬の政体構想に接続したと考えられる。

・「建白七策」について、譜代小藩の上田藩士であるため幕府を排除できず、幕府と西国雄藩の連携、特に幕薩融和を意識し、四侯会議のタイミングに合わせて建白をしたという政治的センスに重きを置くべき事象と位置づける。

・赤松の非業の死は、日本軍事史において痛恨事であるとともに、政治史においても有能なインストラクターを喪失したと断言しても過大評価にはならないと確信する。

講演の詳細は関東同窓会HP中の赤松小三郎研究会HP(昨年11月に開設)でぜひご覧ください。  
(赤松小三郎研究会 荻原貴)



講師の町田明広さん

Outsourcingの知識集団  
株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳(69期)  
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号  
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005  
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号  
三田ビル3階(〒105-0001)  
TEL 03-3580-8588  
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎(68期)

## 歴史の宝庫・佐久平

## 歴史散歩で心身共に充実

新幹線で東京と信州の往来がしやすくなったので、一昨年から東京と信州の両方一緒に「歴史散歩」を楽しんでいる。昨年は、東京3回、信州2回の歴史散歩をしたが、11月に行った信州歴史散歩について報告する。広い佐久地域の史跡を車も利用して巡った。

木曾義仲の滅亡後、鎌倉時代、佐久地域では岩村田を中心に、大井氏が地頭として一大勢力を誇った。戦国時代になると村上氏が侵攻、その後、武田氏が侵攻し、武田氏が滅亡すると、佐久は徳川家康の支配下になり、徳川方の依田信蕃が佐久地域に勢力を拡大した。



龍岡城大手門跡

11月11日、佐久平駅に集まり、佐久地域の中心、岩村田宿を浅間郷土史研究会会長・井出氏の案内で巡る。



龍雲寺八脚二重楼門

龍雲寺は鎌倉時代に大井氏の招きで開山したが、うち続く戦乱で荒廃していた寺を再興したのは武田信玄。本堂の奥には信玄公遺骨が収められた五輪塔が建立されている。

西念寺は、小諸初代藩主・仙石秀久の菩提寺。岩村田藩主（内藤家）の菩提寺でもあり、徳川將軍10代までの位牌もあるとのこと。  
鼻顔稲荷神社は永禄年間の創建。日本五大稲荷神社に数えられ、養蚕、製糸関係者の尊崇を集めていた。  
昼食後、志賀地区に向かった。

志賀城跡は、大井氏の衰退

に乗じて笠原氏が築城したが、武田信玄に攻め落とされ、城主は惨殺され、城兵300余が戦死。籠城していた多くの男女は生け捕りにされ、黒川金山の作業員や娼婦、奴隸として人身売買されたという落城悲話が伝わる。

志賀地区にある神津家は、黒壁家と赤壁家があり、この地域の大地主として有名というだけでなく、神津牧場の創業、長野電鉄の創設や志賀高原の開発など信州の経済発展に尽くした。神津港人は画家で東京芸術大学教授。神津義行は作曲家として活動している。

旧中込学校。長野県に現存する最古級の擬洋風建築の学校で国・重文に指定されている。2階の廊下と1階の手すりの間にはステンドグラスがはめ込まれて美しい光を校内に放っている。建築費用は約6100円（約1億2千万円）。当時の中込村は養蚕と薬用人参の栽培が盛んな地域で、特に豊かではなかったというが、子供たちに良い教育を受けさせたいと、村人たちが費用を捻出した。当時、一般的な家で1円（約2万円）を出し、残りは資産家の



旧中込学校

寄付でまかなったとのこと。

龍岡城跡。この城を築いたのは、三河国奥殿藩主の次男だった松平乗謨。幕末、老中格や陸軍総裁を務め、洋式城郭に憧れていた。文久3年に田野口藩へ転封になると、函館の五稜郭と同じ稜堡式築城法の城郭を築き、龍岡藩と改称した。城の大手門から入り、星形の堀に沿った土塁の上を一周した。堀は5分の3が完成して水をたたえている。土塁の上には砲台跡が残っている。

見学はここまでで解散したが、予定では田口藩主・依田信蕃の菩提寺である蕃松院も見学予定であった。  
佐久平は広く、歴史が詰まっていると感じた。

清水計枝（64期）

eclat

税理士法人 エクラコンサルティング  
株式会社 エクラコンサルティング

資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く

代表社員 税理士 田中 誠 (72期)

〒102-0094 千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニガーデンコート8階

TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801

http://www.eclat-c.com/

## 土屋綜合法律事務所

弁護士 土屋 文男 (69期)

〒102-0073

千代田区九段北1-3-3九段下東急真光ビル4階・8階

TEL: 03-3512-0211 FAX: 03-3512-0214



# 関連団体の紹介 東京東御市会

## 「伝えきれない感謝の気持ちを込めて」

大雪と寒波の襲った日本列島、異常気象のなか皆様お元気で過ごすのことでしょうか。

大雪と寒波の襲った日本列島、異常気象のなか皆様お元気で過ごすのことでしょうか。

しかしながら、そうした閉ざされたなかでのたくましく手を携えて苦難から立ち直ろうとする姿は私達に勇気と希望を与えてくれます。

神様は、一人ひとりに乗り越えることのできない障害は与えないと聞き及んでおります。

東京東御市会もお互いの懇親を通じて協力の精神を養い、郷里のために尽力するという精神を見えないうちに培われることを嬉しく思っております。

### 4年ぶり総会

令和5年11月18日、4年ぶりに日本教育会館において東京東御市会総会及び懇親会が開催されました。

新型コロナウイルスが猛威をふるい、会の活動が中止を余儀なくされ、交流が閉ざされた中で長い暗いトンネルを抜け出した思いでし



東京東御市会総会・懇親会



北国街道海野宿

た。初参加の人もおり会話が弾み、笑顔が弾み、その輪の中で嬉しく思いました。

この度の総会及び懇親会には49名の方に参加していただきました。

郷里からは東京東御市会応援団として花岡利夫東御市市長、眞島実信州うえだ農業協同組合組合長、佐藤千枝長野県議会議員、中村眞一東御市議会議長らのご多忙にもかかわらず参加いただき、また、東京上田会会長山寄齋明氏、東京小諸会会



竹内不忘作雷電為右衛門

長松井石根氏らの出席により盛会となりました。当会には各分野で活躍している会員、またはかつて活躍した会員が集っており（レーシングドライバー・ルマン24時間耐久レース世界2位土屋圭市氏、元NHK交響楽団首席・元国立音楽大学教授百瀬和紀氏、オレたちひょうきん族懺悔の神様武者博和氏）、交流を深めることにより得難い刺激を得られると思

っております。最後に、皆様の健康とご多幸を祈念して上田高校の先輩である（二社）日本生活習慣病予防協会の名誉会長池田義雄氏の左記言葉を引用して結びの言葉したいと思います。

「生活習慣病予防につながる基本の健康生活、『一無（禁煙）、二少（少食、少飲）、三多（多動、多休、多接）』の実践をお勧め致したく思います」

東京東御市会  
会長 土屋文男（69期）

## 東京東御市会 会員募集中



東御市出身の方、東御市にゆかりのある方々、皆様のご参加お待ちしております。

会長 土屋 文男（69期）  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北1-3-3  
九段下東急真サクラビル8階  
03-3512-0211

# 同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが出版した本を掲載しています。紹介したい図書がありましたら、左記のメールアドレスにご連絡ください。その際、著者の連絡先、表紙の写真も送ってくださいと助かります。

naa@rak3@outlook.jp

中村和久

(定価は税込み)

『Mrs. カトゥーラの新感覚★タイバ英語』英語攻略の最短5ルー

河東田美恵 (92期)



こんな英語学習本見たことがない！ たった5分で英語耳になれるメソッド収録！

8つの質問に答えて、5つの認知才能タイプ別に最短距離で英語マスターへ。(著者より)

『江戸の憲法構想』

関良基 (86期)



作品社 2420円

本書は、上田藩の赤松小三郎など江戸末期の6つの憲法構想を読み解くことで、明治維新とは違った、より平和で穏健な日本近代の可能性があったことを論じます。(著者より)

『東京六大学野球人国記』

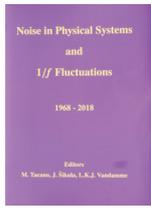
丸山清光 (70期)



鳥影社 2970円

来年で満100年を迎える東京六大学野球。上田高(上田中)出身の主将は、早慶戦第一戦に出場した宮原清、桜井弥一郎(慶大)、昭和32年甲子園出場時の捕手の倉島今朝徳(明大)、六大学野球50周年時の渋沢稔(東大)、小生(明大)の5名。第1章は上田高校(中学)から始まり、100年で描かれた人間模様を記しました。(著者より)

『Noise in Physical Systems and 1/f Fluctuation』1968-2018



全英文、A4、320頁索引付き、一部カラー・ソフトカバー、重量1kg、税込み定価25000円。

編集：鷹野致和(56期)、J・シクラ(チェコ・ブルノ工科大学)、L・バンダム(蘭・Eindhoven工科大学)

雑音・ゆらぎの50年間の国際会議(情報通信分野)発表論文3000件以上から約400件の概要を第一部に、現在活躍中の主要各国研究所の業績を第二部に紹介。残部些少、希望者には12000円にて頒布(tacanojp@yahoo.co.jpまでご連絡下さい)。

Amazon 経由市販計画中、図書館等需要多ければ On Demandにて増刷します。(編集者より)

## 会員短信

### 新年会の出欠はがきより

46期 金子 壽夫

ご連絡が遅くなり大変恐縮ですが、父金子壽夫は去る令和3年11月13日に永眠いたしました。生前故人に賜りましたご厚誼に対し深く御礼申し上げます。末筆ながら貴会同窓会のご盛会を心よりお祈り申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。不長男・金子周介

47期 上野 平八郎

卒寿を過ぎどうにか生きています。ご盛会を祈ります。

48期 吉村 功

同窓会報が立派になり事務局の苦勞が理解出来ます。新年会が盛会になる事を祈念しています。

49期 風間 充

昨年、最愛の妻を亡くし毎日寂しい日々を送っています。妻の分まで健康で長生きを願うトレーニングをしています。平和な世界が続くことを願っています。

51期 蒲生 卓磨

89歳になり、元気に一人暮らしをしています。東京まで行くのは大変です。皆さまよろしく。

51期 保坂 利勝

12月10日、同期会があり出席できました。出席者僅か24人でした。上田駅前の東急ホテルでした。

52期 掛川 十次郎

会報楽しく読ませていただきました。感謝。これ程の勞作に御苦勞を思う。益々の発展を祈ります。

54期 倉島 彰

東京の家を引き払って上田の生家に移居してから1年経ちました。平穩に独居しています。

54期 深町 勝男

コロナ、インフルエンザに耐え当方元気です。

54期 石井 光春

新会長・矢島基美様、御苦勞様です。同窓会のますますの発展を祈念します。

55期 宮島 光男

**ことぶき法律事務所**  
**弁護士 林 幸平 (74期)**  
 東京都新宿区新宿 2-19-13  
 坂善第一ビル 8F 〒160-0022  
 TEL 03-3226-0260  
 FAX 03-3226-0290  
 URL <http://www.kotobuki-law.com>

**上中居ファミリークリニック**  
**医学博士 清水 雄至 (79期)**  
 〒370-0851  
 群馬県高崎市上中居町411  
 TEL: 027-326-4155 FAX: 027-326-4156  
 E-mail: [yujikiyomilistiger62@gmail.com](mailto:yujikiyomilistiger62@gmail.com)



「85歳の壁」を越え、終活を始める年に。20年あまり続けてきた松尾倶楽部の編集幹事を能力豊かな後輩に任せたい。「アイラブウエダ」の東京上田会もそろそろ若手を探さなければ、と祈る思い。同期の仲間による「三水会」は元気のうちは当分続けていくつもりだが、さてどうなるか？

**56期 安田 明**  
父・安田明は、令和5年12月5日亡くなりました。謹んでご連絡致します。長男・安田明礼

**57期 榎本 金二**  
元気に過ごしております。

**57期 箱山 雍**  
健康管理として、家庭菜園、ポラントイア活動、おもちゃ病院、趣味(テニス、ハイキング等)に毎日元気に頑張っております。

**59期 阿部 真之亮**  
昨年9月5日に父真之亮は永眠致しました。生前は大変お世話になり、誠にありがとうございました。長男・徹

**60期 田中 俊郎**  
百姓に戻って20年、我が国の穀物自給率が28%まで低落してしまい、心配しています。少子化も神のご意志かと。

**60期 松井 石根**  
80歳、年をとるほど苦勞が増える。楽隠居など幻想かな。

**60期 山岸 文明**

傘寿を迎えました。健康第一で生活しています。世界の平和を祈りつつ、趣味の俳句に打ち込んでいます。

**60期 小山 比呂志**  
会報107号で93期田玉恵美さんの紹介記事で上田高校同窓生と知り、感謝です。編集長ありがとうございました。今年は上田高校吹奏楽団OB会「松奏会」設立10周年です。

**62期 柳澤 昌俊**  
一般社団法人・文教施設協会という団体に勤めています。上田市中野の実家(空き家)には時々帰省しています。

**62期 斉藤 実敏**  
中国から帰国して、3年目。「温故知新」旧友との友情の大切さを再認識しています。皆様と会うことを楽しみにしています。

**62期 栗山 正雄**  
「フェイスブック」にグループ「上田高校の同窓生」を開設、郷里や同窓生の話題など交換しています。現在メンバーは130人程、興味ある方はお知らせください。

**63期 山浦 善樹**  
同窓会報で卒業80期、90期…さらには115期の若い同窓生が活躍していることを知り、今更ながら上田高校つてすごいんだ！と感じています。

**63期 飯塚 一雄**  
喜寿を迎えましたが、まだまだ東南アジアの鉄道へのコンサルタントを続けています。コロナ、ウクライナ、ミャンマーの軍事政権の影響で活動が停滞しています。が、体の続く限りがんばりたいと思います。

**63期 花岡 孝雄**  
役員の皆様ご苦勞様です。盛会を祈ります。

**63期 山極 真咲**  
総会吹奏楽を楽しみました(吹奏楽班OBとして)。まだ現役でコロナ後、台湾へ3回出張して忙しくしております。プラスチックのリサイクル装置を輸入し国内に納入しています。

**65期 小林 淳一**  
昨年4月から公立大学法人長野大学の学長をしています。

**65期 上原 昇**  
久しぶりの立食での新年会楽しみです。65期も4年ぶりの同期会を関東で開催予定です。

**66期 柳澤 公雄**  
私の父は、戦中、ビルマで泰緬鉄道の建設に携わったのですが、当時の様子がよくわかりません。泰緬鉄道の建設や維持に関わった人達(鉄道部隊関係者)が戦後に「乙四会」という集まりの会を持つていたことがわかっています。が、この会の事などご存じの事

**69期 倉沢 裕**  
新役員の皆様のご活躍を期待しております。従来の風習にとらわれずに新しい同窓会を目指し、チャレンジをお願いします！

**72期 中澤 一治**  
若いスタッフと一緒に、何とか現役しています。アマチュア無線も長々と細々とやっています。アンテナタワーはとて無理なので、もっぱら、430中心です。条件がよいと関東(1エリア)はカバーできますね。7コールです。

**72期 青沼 泉**  
今年10月に上田に戻ります。関東同窓会にはその後もお世話になります。よろしく願います。

**75期 一之瀬 康利**  
今年、前期高齢者となります。が、気持ちは25歳です。つねに若手のシンガーをチェックしています。作曲活動も続けて参りたいです。どなたかセッションしませんか？

**75期 一之瀬 康利**  
今年、前期高齢者となります。が、気持ちは25歳です。つねに若手のシンガーをチェックしています。作曲活動も続けて参りたいです。どなたかセッションしませんか？

**年齢問わずコミュニケーション**  
学校に公式麻雀部誕生  
松井石根さん(60期)が理事長を務める通信制高校・フリースクール「松実高等学校」(埼玉県春日部市)で「健康麻雀部」が発足

し話題を呼んでいる。きっかけは生徒が一人でケータイアプリの麻雀をしているのをみて、一緒に牌を囲んだらと考えたことからだった。「麻雀はコミュニケーションのツールとして優れているし、必ずしも実力者が勝つわけでもない。相手もいて頭をつかう楽しいものだ」と顧問の斉藤友昭さんは語る。

最初はギャンブルという昭和の暗いイメージがある麻雀を、学校でやっても大丈夫なのか、との声もあつたが友人をつくるためにも有効だと、2022年に正式に誕生した。今では中等部3人、高等部23人で活動している。また、デイサービスの施設で麻雀のボランティアも行っている。麻雀を通しておじいちゃん、おばあちゃんとのコミュニケーションがとれれば、という。

部長の佐藤柁弥さん(高等部2年)は「麻雀の大会があるわけではないので、部員それぞれが麻雀を通して何をしたいか目標をもつて取り組んでほしい」と話している。

部長の佐藤柁弥さん(高等部2年)は「麻雀の大会があるわけではないので、部員それぞれが麻雀を通して何をしたいか目標をもつて取り組んでほしい」と話している。



麻雀の卓を囲む生徒たち



# 上田高校 NOW

令和5年度の上田高校は、コロナ禍が  
あけて、日常生活が  
徐々に戻ってきました。  
7月の松尾祭の  
一般公開には4千人

の来場者があり、大変な賑わいで  
した。研修旅行は、3泊4日の関  
西旅行でした。インフルエンザの  
罹患者が出て、最終日の行程をと  
りやめて戻ってくることになって  
しまいました。生徒たちは皆、  
楽しかったと喜んでいました。2  
年生は中学校でフル規格の修学旅  
行に行けなかった世代です。県内  
の日帰りや一泊旅行になった中学  
校が多かったそうですから、3泊  
の旅行はさぞや思い出深かったこ  
とでしょう。3年生はしっかりと  
受験に向き合い、成果をあげまし  
た。

春休みにはボストン、マニラ、  
カンボジアの3本の海外研修が復  
活しました。SGHの時代から始  
まったもので、コロナ禍では渡航  
できなかつたものの、オンライン  
研修などを続けてきました。海外  
研修は本校の特色でもありますか  
ら、コロナがあけたらぜひ再開し  
たいと思っています。しかしな  
がら、円安や物価高により、費用  
がコロナ前の倍かかってしまうこ  
とが判明しました。それでも大勢  
の参加申し込みがありました。こ  
高額の費用は頭痛の種でした。こ  
のことに、同窓会のご協力

で、同窓生の皆様にご支援  
をお願いしたところ、60名  
近い同窓生と2つの同窓組  
織に合計80万円を超えるご  
支援をいただき、おかげさ  
まで、参加者40名に2万円  
ずつの支援金を贈ることが  
できました。ご寄付をいた  
だいた方の中には、ご自身  
が海外に出たからこそ得ら  
れたものがあるから高校生  
にもぜひ体験してほしい、  
というメッセージをお寄せ  
いただいた先輩もいまし  
ます。本当にありがとうございます。

先日、剣道班では、OB  
会からのご提案で、能登震  
災で被災した姉妹校石川  
県・七尾高校を試合にお招  
きしました。他にも、生徒  
の課題研究にご助言をいた  
だいたり、社会人講話の講  
師をお願いしたり、同窓生  
の皆様のおかげで生徒の学  
びがますます豊かになって  
います。  
今後も上田高校は生徒の  
主体的な学びを後押しする  
学校であり続けたいと思っ  
ています。引き続き温かく見守  
ってくださいますよう、お  
願い申し上げます。



## 「アフターコロナの上田高校」 上田高等学校校長 宮下美和

### 卒業式の報告



3月1日、夜半からのみぞれ交じ  
りの雪も止み、教職員総出の雪かき  
で、卒業生の足元を確保し、式当日  
を迎えました。5年ぶりにほぼ制限  
もなく、多くの保護者の参加の中、  
2023年度の卒業証書授与式が厳  
粛に執り行われました。  
宮下学校長は式辞の中で、能登の  
地震に触れ、自ら被災しながらも住  
民のために奮闘する多くの人たちの  
使命感について、そして卒業生が今  
後困難な中でも、自らの社会的役  
割、使命を探し続けてほしいと語り  
かけました。

金子同窓会長は、在校生への手厚  
い支援を行う上田高校同窓会の姿勢  
と、長い人生の中での同窓生・同窓  
会の重要性、そして今の友人を大切  
にとお話し頂きました  
送辞では、コロナ禍で途絶えかけ  
た生徒会活動等の「伝統」を復活  
し、新たな工夫をも加えた卒業学年  
への感謝と、伝統を引き継ぐ決意が  
述べられました。  
式典後は青空が広がり、玄関前の  
ロータリーでは、恒例である班活の  
後輩が先輩を送る風景も復活し、明  
るく華やかに卒業生を送り出すこと  
ができました。激動の今、卒業生の  
未来に幸多かれと願うばかりです。  
同窓会担当 金井郁夫



### 松奏会は関東同窓会を 応援します

(上田高校吹奏楽団 OBOG 会)

“第10回吹奏楽を楽しむ会”でお会いしましょう!

令和6年9月29日(日) 13:00開演 於: サントミュージゼ大ホール

会長: 百瀬和紀 (58期) 幹事長: 中村真一 (62期)

<http://ueda26shousou.sakura.ne.jp/>



## 一人一人が自分らしく 内面から輝く3年間に 新1学年主任 藤沢衛

上田高校125期総勢3221名が入学しました。この学年は身体的に障がいを持った生徒の入学にあたり、できる支援を工夫し学びやすい環境を提供することに入学前から取り組んできました。自分の置かれた状況を前向きにとらえ努力する彼らの姿は、125期生全員に良い影響を与えてくれると確信しています。すべての活動がコロナ前に戻り、はつらつとした3年間で過ごすため、みんな違っ

てみんないい、一人一人の輝きを大切にしている学年の船出となりました。



125期入学式の様子

## 大きく成長して最上級学年へ 旧2学年主任 横山智典

2学年は、学年目標「至高の望」を掲げてさまざまな活動に取り組んできました。4月には「世界から、地域から、課題解決を考察する」をテーマにアカデミックプレゼンテーションが開催されました。「つばさプロジェクト研修報告」「ヒューマンアクトイン マニラ研修報告」「ポストンスタディープログラム研修報告」等の課題研究につながるレベルの高い報告会となりました。



京都伏見稲荷大社にて 2023年11月

ました。

11月には「京都・大阪方面への研修旅行」が行われました。コロナ禍で中学校での研修旅行が実施されなかった生徒達にとっては大変楽しみにしていた行事でした。仲間と宿泊、交流し、京都や大阪の歴史や文化に触れ、大きく成長した姿が見られました。

今年度は最上級学年として進路実現を視野に入れた深い学びを目指すこととなります。同窓会の皆様からの変わらぬ温かいご支援をいただけますと幸いです。

## 主体性を育むもの 旧1学年主任 神津純

生徒に時間を返す。日本では「こと」が先行する。「こと」とはつまり形式。与えられたものを学ぶ形に慣らされた者

にとつて、返された時間の使い方を自分で考えねばならぬのは至難の業である。時間を返した(つもり)の我々も、不安でたまらない。彼らは時間をどう使うのだろうか。今年、

国語の課題を減らした。減らすことで時間を返そうというのである。勇気が必要だった。課題の量と学力は比例するとい

祝縛から逃れられない。しかし、彼らはどう時間を使ったのかは分からないが、結果という形で不安を解消してくれた。まだまだかも知れない。ただ、少し分かったこと、それは「主体性を育むもの」は「信ずること」だということだ。



松尾祭で

## 定時制3修生8名が卒業 旧3学年担任 若林康彦

コロナ禍、真つ只中に入学。学校行事も中止や縮小。思うような学校生活を過ごすことが出来ずに不安ばかりが先立ちましたが、年を追うごとに活気が戻ってきました。

5月の修学旅行では、東京見学とデイズニーシーに行ってきました。グループごとに計画を立て、それをもとに東京見学を行い各々の見識を高めることが出来ました。2日目のデイズニーシーでは開場と同時に終日遊び尽くしました。

3年次の松尾祭では若いエネルギーが存分に発揮されました。数年ぶりにカレーライス・焼きそば・かき氷の販

売が再開され大いに盛り上げることが出来ました。仲間との楽しい思い出は彼らの大事な宝物です。3年間の経験と思いを糧に卒業してからも大いに活躍してくれることを祈っています。



ディズニーシーで

# 上田高校 NOW

# 上田高校 NOW

今後も、上田高校生徒会123期は、生徒や学校のための生徒会として、常に改良を重ねながら、上田高校生徒会独自の色で、活動・運営していきます。その中で、同窓会をはじめ、多くの方々の力をお借りすることになるかもしれませんが、その時は、どうぞよろしくお願いたします。

## 常に改良を重ねながら

生徒会長 坂本浩平



上田高校123期生徒会長をやっています。坂本浩平です。

生徒会では全校生徒が渴望していた教室内ゴミ箱の設置や、SNSの活用をした生徒会活動の情報発信、収集を行ったりして、常に生徒の会として、生徒の要望や意見を聞き、それを学校に発信し、実現できるように日々、頑張っています。

他にも、被災地支援活動で他校との連携、交流も行っており、今は募金活動しかできていませんが、今後は被災地高校生支援に重点をおいて活動していこうと思っています。

## 躍進の日々

クイズ班 班長・中川朝陽

私たちクイズ班は毎日化学室で活動しています。班員全員が和気あいあいとしながらも日々研鑽を積み、お互いを高め合っています。時には音声通話などを駆使し、オンラインで活動を行います。

クイズ班には年に一度大きな大会があります。「全国日本クイズリーグAQL」です。この大会は10人で1チームの団体戦となっています。迎えた12月の甲信越大会、全国大会に進出できるのは上位1チームのみでした。試合で

## ソフトテニス班の状況

顧問 櫻井敦(76期)

コロナ禍での練習規制や新入生入班が少数にとどまるなど厳しい制約下、122期123期中心に日々集中した練習を積み重ねて参りました。新体制発足時、県大会での目標を3回戦進出(団体戦ではベスト8、個人戦ではベスト16)と掲げ、技術力・精神力・戦術向上に向け励みました。

県大会では男子が新人大会、そして総体で団体戦ベスト8、齋藤・浅木組が選抜インドア大会で5位、総体でベスト16と2大会連

は、メンバー同士で声を掛け合い、それぞれが自分の得意な分野では正解を重ね、苦手な分野はカバーし合いました。日々の活動の中で培われた班員同士の仲の良さが発揮され、全勝で初優勝を飾りました。去年あと1勝というところで敗退してしまっただけの悔しさが報われた瞬間でした。

3月の全国大会では名だたる強豪校と戦い、1勝4敗と悔しさの残る結果となりました。しかし全国の舞台で戦えたこと、その中で諦めずに1勝をもぎ取ることができたことは我々の大きな収穫となり、来年へと繋がっていきます。

続での北信越大会進出と、全国大会進出一步手前まで健闘してくれました。また、安藤・花岡組も新人大会・国体1次でのベスト16進出と健闘しました。女子も少人数ではありましたが、男子と切磋琢磨し、高野・松澤組が県新人大会で3回戦まで進出しました。班長中心にまとまって最後まで努力を惜しまず、技術力・集中力を磨いてくれました。健闘を讃えたいと思います。

新入生勧誘で班員を増やし、2015年度以来の全国大会出場を目指し精進したいと思います。OBの皆様の思い出のコートである

皆様からの応援を胸に日々精進してまいります。



令和5年度県総体にて

城跡公園東コートも今年度末にはなくなり、同コートでの「交流会」は最後になりそうです。現役生を鍛えていただければ幸甚です。ご支援に深く感謝申し上げます。

## 「不登校」も成長の証

「じぶんらしく、輝く」

一人ひとりが持つ個性を大切に、

柔軟な教育スタイルときめ細かいサポートで

生徒を笑顔に導きます。

【4つのコース】

◆進学コース ◆美術イラストコース

◆総合エンターテインメントコース ◆ペットアニマルコース

あかし

<最近の合格実績>

【国公立】 東京大(医)・東京大・京都大・北京大(医)・京波大(医) 長崎大(医)・東京工大・東京外大・千葉大・新潟大・信州大ほか  
【私立】 早稲田大・慶應大・ICU・上智大・東邦大(医)・東海大(医) 杏林大(医)・北里大(医)・帝京大(医)・明治大・法政大・中央大 青山学院大・東京女子医大・津田塾大・聖心女子大・多摩美大ほか

学校法人 上田桜樹学園 さくら国際高等学校 東京校

東京都渋谷区代々木 1-43-8

Tel 03-3370-0718

http://www.tokyo.sakura-kokusai.ed.jp

理事長・学園長 荒井 裕司 (64期)



# 上田高校 NOW

# 国公立・私立大学合格者増加

同窓会の皆様におかれましては、日ごろから在校生にさまざまなご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。コロナ禍を乗り越え、令和5年度は徐々に通常生活に戻り、学校の教育活動も新たな気持ちでスタートした年となりました。

今年度は共通テスト4年目の年であり、思考力を問う出題が定着してきたところですが、令和6年度からは新学習指導要領による入試の改編もあり、全国的に現役志向が強いという声もありました。それに対し、本校の122期生は安易な進路選択はせず、自分の意志を最後まで貫こうという姿勢が見受けられました。

国公立大学の合格者数は百五十二名であり卒業生数の50%を超えています。(合格者のうちの93%は進学をしています)。また信州大学医学科には三名が現役合格しています。私立大学では、明治大学や中央大学の合格者数が例年より多く、私立大学の受験者数と合格者数はともに昨年より増加しました。122期生の特徴としては、薬学・農学志望者が多く、薬学で10名、農学で15名程度進学しています。また、過年度生では東京大学をはじめ旧帝大に4名合格し進学しています。

今後とも個々の希望による進路を目指しますので、ご支援よろしく願います。

進路指導主事 甲田泰広

## 2024年入試 合格校一覧 (2023年3月卒業生及び既卒者判明分)

上田高校進路室調べ

大学名	現役	既卒	大学名	現役	既卒	大学名	現役	既卒	大学名	現役	既卒
国立大学計	120	16	東京都立	4		駒澤	9		明星	5	2
北海道	3	1	横浜市立	3	2	実践女子	1		立教	9	5
帯広畜産	1		長岡造形	1		芝浦工業	8	2	立正	2	
東北	3	2	新潟県立	3		順天堂	14		早稲田	5	1
福島	1		新潟県立看護	1		上智	2		神奈川	7	2
茨城	2		富山県立	1		昭和	1		神奈川工科		2
筑波	2		都留文科	2	2	昭和三科	6		関東学院	1	
宇都宮	2		長野県看護	1		成蹊	2		相模女子	2	
群馬	8		長野県立	4		成城	1		横浜美術	1	
埼玉	3	1	諏訪東京理科		1	専修	13		新潟医療福祉	2	
千葉	4	1	岐阜薬科	1		大東文化	5	2	金沢学院	1	
電気通信	2		愛知県立芸術		1	玉川	4		金沢工業	8	1
東京		1	私立大学計	442	73	多摩美術	3		北陸学院	1	
東京医科歯科	1		酪農学園		1	中央	21		山梨学院	1	
東京外国語	2		岩手医科		1	津田塾	3		佐久	4	
東京学芸	5		国際医療福祉	5	1	帝京	1		清泉女学院	4	
東京工業		1	自治医科		1	東海	5	1	長野保健医療	4	
東京農工	2	1	群馬パース	2		東京音楽	2		松本	2	1
横浜国立	3	1	高崎健康福祉	8		東京家政	1		岐阜聖徳学園	2	
新潟	5		浦和		2	東京経済	2		愛知学院	3	
富山	15	2	城西	1		東京工科	4		福山女学園	2	
金沢	11	1	埼玉医科	1		東京工芸	2		中京	2	
福井	2		獨協	1		東京女子	3		名古屋外国語	4	
山梨	2		日本医療科学	1	1	東京造形	2		南山	2	
信州	25	1	文教	10		東京電機	2	2	長浜バイオ	1	
静岡	5	1	常磐		2	東京都市	4		京都産業		1
名古屋	2		秀明		1	東京農業	14		京都女子	3	
滋賀	1		淑徳	1		東京薬科	1		同志社	3	
京都	1		千葉工業	7	2	東京理科	5	1	佛教	1	
大阪	3	1	中央学院		2	東邦	6		立命館	11	4
神戸	1		青山学院	6	2	東洋	21	11	龍谷	1	2
広島	1		亜細亜	1		日本	9	3	大阪芸術	1	
徳島		1	桜美林	1		日本女子	2		関西	1	
高知	1		大妻女子	2		文化学園	1		近畿	10	1
九州	1		学習院	2	1	法政	33	2	関西学院	1	1
公立大学計	32	6	北里	11	2	星薬科	6		神戸薬科	1	
旭川市立	1		杏林	2		武蔵	2				
群馬県立女子	1		慶應義塾	1	1	武蔵野	8	1	私立短期大学	1	2
高崎経済	4		工学院	4	1	武蔵野美術	5		海外進学(準備)	3	
前橋工科	2		國學院	4		明治	22	3	文部科学省所管外大校		1
茨城県立医療	1		国際基督教	1		明治学院	5		専門学校等	3	
埼玉県立	2		国士館		1	明治薬科	2				

# 《年会費納入者一覧 (2024年3月末現在)》

- ▶年会費納入にご協力いただき、ありがとうございます。一覧は2023年以降の年会費を納入された方です。
- ▶名前の後の数字はその年度まで納入したことを示しています。(例：2024=2024年度まで納入済み)
- ▶年度4月から満80歳を迎える期の会員は納入免除です。
- ▶過年度分未納の方は、さかのぼって納入する必要はありません。納めていただいた時点からカウントします。

※お問い合わせ先：事務局（幹事長）平林一央まで

TEL：03-5201-3979（関東同窓会事務所） e-mail：hirabayashi.kazuo@nifty.com

磯村雄二	2027	室賀太郎	2028	浅井保雄	2028	安間 襄	2024	櫻井資悦	2023	小宮山栄	2027	【47期】	
伊田 賢	2026	諸岡健児	2026	有賀幾夫	2024	山岸憲雄	2024	清水侯博	2025	柴田義人	2024	上原 亨	2026
一條光枝	2023	柳沢昌俊	2026	伊藤宗男	2023	山岸文明	2025	関 和明	2024	瀬下正利	2025	関本秀治	2025
一瀬清治	2026	柳澤敏雄	2024	岩井重一	2037	渡辺俊彦	2027	関本桂子	2024	竹内 仁	2024	土屋 博	2030
一場美智子	2023	吉池貴美	2024	上原隆一	2025	【61期】		高橋謙夫	2023	立岩 環	2030	【49期】	
奥村恭子	2030	【63期】		岡村文一	2023	新井袈裟光	2023	千野裕明	2023	長崎哲夫	2023	小林恒雄	2023
小野沢常裕	2028	青木泰信	2024	片山隆行	2027	池田 稔	2024	西沢正浩	2024	中村甲治	2024	龍岡 櫻	2023
片桐昭夫	2025	飯島俊文	2027	川上千明	2027	石井茂雄	2024	萩原清人	2026	中山英之	2027	松岡秀夫	2026
北原巖男	2027	飯島正文	2026	木内和宣	2023	市川五朗	2026	長谷川久二	2023	堀内辰男	2024	【50期】	
木村廣三	2024	飯塚一雄	2025	栗山正雄	2024	市川武伸	2028	羽田幸善	2023	山極卓也	2023	小山洋之介	2030
窪田 実	2028	市村武次	2029	小出勝利	2025	井出眞鐵	2023	堀部孝久	2024	【57期】		竹内啓爾	2026
熊坂一成	2025	大井俊彦	2024	合津武雄	2024	井出孝光	2024	本郷達郎	2023	伊藤紘二	2023	宮本嘉興	2023
小林武男	2028	大塚和弘	2024	児玉一江	2024	井上 剛	2023	町田克二	2027	櫻本金二	2026	渡邊洋一	2029
小林千修	2030	河西郁男	2026	小沼照彦	2023	上原勝二郎	2026	水出清仁	2023	尾和尚人	2024	【51期】	
小松正佳	2023	金沢嘉昌	2029	小林正樹	2024	内山澄孝	2024	宮下博文	2024	加賀美欣二郎	2026	浅野井哲	2024
佐藤弘徳	2027	上條和祥	2026	小林美智子	2023	小牟猛生	2037	柳澤建夫	2029	桑原恒雄	2024	上原隆雄	2023
佐鳥利行	2023	川村恭司	2023	小林圭一	2027	大澤裕吉	2023	【60期】		小島吉男	2026	太田幸男	2024
塩川伸明	2027	神林 森	2025	小山平六	2026	大澤義隆	2026	青柳啓行	2025	近藤正輝	2023	浦生卓磨	2035
島田彰男	2023	北佳不二男	2031	近藤晃理	2035	荻原隆治	2025	池田孝藏	2024	野田晃弘	2023	佐藤隆俊	2023
清水安雄	2023	木村公平	2026	斎藤実敏	2027	尾和正暉	2048	池田 雍	2025	箱山 雍	2023	長谷川孝一	2026
清水 計枝	2026	小林諒一	2024	酒井伸二郎	2024	笠井徳爾	2029	井上 茂	2023	畑 勲	2023	堀内弘栄	2023
白井 彰	2028	佐伯謙吾	2027	佐藤澄江	2027	岸田 勇	2024	上原惇子	2024	細田 衛	2032	母袋博一	2027
春原和民	2023	塩澤清文	2030	塩入睦夫	2023	沓掛 忠	2025	大橋邦夫	2025	本田 健	2023	【52期】	
高梨芳男	2027	塩野入幸一	2030	塩入功三	2023	久保田敬雄	2023	荻原武仁	2023	松木 功	2032	青木 功	2041
滝澤明憲	2026	下村祐一	2023	清水輝夫	2026	栗谷川洋	2025	尾上朝子	2025	森田紀武	2024	石合正和	2024
竹内中和	2025	関田正幸	2023	正村真治	2027	神津久幸	2024	風間文彦	2026	渡辺孝幸	2024	荻原静寿	2027
田中耕一	2025	高寺 学	2024	鈴木綾子	2032	神津英明	2024	北村友和	2028	渡辺静雄	2027	小林俊憲	2026
辻佐知子	2027	高見沢治	2024	関 祥行	2029	小林宣光	2025	沓掛行徳	2025	【58期】		小林孝典	2024
寺西孝昭	2027	滝沢鐵夫	2027	高梨奉男	2027	小山忠顯	2029	黒澤博身	2025	青木 淳	2023	若川 一	2026
直井隆徳	2027	武井長久	2025	高松郁夫	2028	小山 満	2025	小関夏子	2025	井澤 敬	2029	若林英鋭	2023
中西載慶	2028	竹内伍郎	2025	滝澤 淳	2026	坂井英樹	2023	小松有也	2023	伊東啓治	2028	【53期】	
中山 敏	2026	田中将揮	2025	滝沢伸吉	2024	篠原敬一	2024	小山比呂志	2023	伊藤文明	2024	坂口茂廣	2023
西沢安彦	2023	田中 稔	2027	瀧澤 晃	2026	清水忠勝	2024	櫻井修一	2023	大井秀三郎	2023	武重賢治	2027
野村 一	2028	内藤秀気	2028	田口象二郎	2030	清水正睦	2024	清水敏弘	2023	大日向寛敏	2023	服部聡一郎	2041
林久美子	2025	中澤秀夫	2024	竹 潤 稔	2026	關 勝	2023	関 一嘉	2026	金子親碩	2026	半田義昭	2024
樋村明久	2025	成澤三雄	2029	田島善光	2028	滝澤 進	2031	袖山 脩	2025	鎌原昭治	2025	【54期】	
松高賢一	2023	西澤文昭	2028	土屋和猛	2025	田澤 洋	2024	鷹野芳機	2026	久保田達夫	2028	石原澄江	2024
宮坂信之	2027	橋詰 徹	2026	土屋郁夫	2024	龍野義尚	2024	竹倉征詞	2025	小池 晃	2024	小林勝利	2023
宮地研二	2023	藤川 昇	2028	富田光明	2024	玉木純徳	2023	田中武夫	2025	小山 泰	2026	田中嘉親	2030
宮下明子	2023	保坂証司	2028	永井正夫	2025	成沢文計	2024	田中良樹	2023	清水壽一	2023	中村忠勝	2023
村居次雄	2030	保屋野美智子	2026	中澤裕治	2027	野口文武	2024	田中 節	2026	城下 尚	2024	橋田ちせ	2024
矢ヶ崎智	2024	堀内敏文	2025	長澤勝彦	2025	野田久代	2025	田中一穂	2023	土屋毎雄	2026	福田斎一	2025
柳沢篤俊	2027	松本有造	2025	中嶋正博	2025	橋詰研一	2025	田中俊郎	2025	手塚洋兵	2023	藤村延魚	2029
柳澤信義	2027	松山 久	2024	中曾根弓夫	2025	林 勝秋	2023	塚田 晃	2026	寺島紘二	2028	前田喜美子	2031
山崎一郎	2026	水野 隆	2028	中野敬三	2032	堀内寿美	2025	戸塚武雄	2024	堀内 昭	2025	宮澤壮介	2025
山本淳一	2024	三井好行	2026	中村房子	2026	町田 章	2025	長崎 誠	2024	宮川克彦	2028	【55期】	
【65期】		宮島正紀	2025	中村幸一	2026	松尾英昭	2025	中島敏男	2026	宮下秀久	2024	木村和幸	2023
赤尾晴夫	2029	武捨良一	2023	中村眞一	2024	三井文人	2027	西沢国隆	2026	宮原清明	2023	倉見英一	2025
岩崎和雄	2024	矢島正晴	2025	中山君平	2024	宮坂 清	2025	羽毛田信	2025	矢嶋瑞夫	2023	坂口宏明	2023
岩崎ひとみ	2024	山浦成子	2024	西澤邦宣	2023	宮島英紀	2030	久田英保	2030	吉池千冬	2023	塚田忠夫	2023
上原澄子	2024	山浦善樹	2024	橋詰剛史	2031	宮本和子	2024	福嶋 宣	2024	吉池正樹	2023	土屋 務	2024
上原 昇	2049	山極真咲	2025	別府直苗	2025	麦島和子	2025	古川 敦	2024	依田康徳	2023	樋口宣明	2026
内堀 信	2024	山本寿美子	2028	牧野紀明	2033	望月 信	2028	松井石根	2027	【59期】		宮島光男	2024
宇野直幸	2024	若林英也	2026	松井由美	2040	諸岡征之	2031	松木 強	2025	有賀勝雄	2024	【56期】	
大野正広	2026	渡辺常男	2026	宮坂和夫	2024	山浦次郎	2025	松林純夫	2024	石崎吉宏	2023	赤尾信吉	2023
岡田 修	2023	【64期】		宮坂信章	2025	由井 崇	2025	丸山久勝	2024	大日方勝利	2040	上原清治	2024
折井正博	2031	浅井康彦	2027	宮崎信二	2027	【62期】		武藤義勝	2028	小林芳友	2023	大日方昂	2025
柿崎良男	2028	荒井裕司	2028	村上國夫	2024	青柳健次	2024	森田英明	2025	小林朋晃	2023	金井浩三	2038
菊地暁子	2032	石井則男	2033	村川誠子	2025	秋田 勇	2028	両角 聡	2026	小林義典	2059	神津 進	2025



畑 芳春	2026	荻原久俊	2038	北澤 豪	2030	宮澤 広	2028	高橋武義	2029	竹内裕二	2025	倉沢よりえ	2023
林 義也	2024	荻原正典	2026	倉沢 進	2026	宮原光男	2025	竹内信明	2024	田中 修	2029	甲田幹夫	2024
広田徳明	2024	荻原眞一	2032	氣田夏子	2028	村松和雄	2027	多胡千恵子	2024	田中 茂	2026	小林淳一	2024
深澤たみ子	2023	唐澤 健	2024	小宮山修邦	2031	山村由紀子	2026	土屋耕太郎	2029	田村和枝	2024	小林国雄	2026
福井正彦	2027	狩谷 梨栄子	2027	小山志保子	2023	吉村邦彦	2030	土屋正道	2024	塚田敏夫	2024	小山佳朗	2025
藤澤 靖	2027	川村 真	2025	酒井利治	2025	依田隆文	2030	円谷和枝	2025	中沢廣重	2026	櫻田喜眞穂	2024
宮原武志	2024	工藤弘子	2026	佐藤哲夫	2027	【70期】		中澤晋哉	2024	茂木俊郎	2024	笹沢政利	2028
横山佳弘	2024	小宮山伸之	2039	芝間志浩	2029	安藤 哲	2023	中島みどり	2030	柳澤公雄	2028	佐藤徹郎	2024
【77期】		坂口洋三	2033	渋谷紀久	2025	伊藤彰紀	2026	中村隆明	2024	山岸 豊	2024	真山 享	2032
岩下 浩	2027	佐藤一雄	2023	関 博明	2023	大橋志津江	2025	西沢 悟	2028	山極正直	2023	澤崎健一	2023
押金 勉	2024	竹内敏尚	2024	関 雄二	2032	川井秀人	2025	平林美穂	2027	山邊樹久生	2024	塩川明男	2027
沖 健治	2024	田子 昇	2027	滝沢秀彦	2028	君波昭治	2025	福澤 弘	2027	山邊豊文	2027	柴田正文	2023
片岡拓雄	2029	田村高志	2030	竹下昌彦	2025	小林繁久	2026	牧野平二	2024	米山みづ江	2024	清水俊文	2024
川村卓也	2025	土屋浩子	2026	田中 誠	2032	小林則夫	2025	増澤 章	2023	米山幸雄	2027	神宮 進	2025
岸 豊子	2041	土屋三千夫	2024	谷口 靖	2026	小松尚志	2023	松山研治	2026	【67期】		高畑悟郎	2025
草間和幸	2037	戸塚誠一	2029	田村順一	2028	佐藤秀紀	2030	水越規容子	2031	石井 豊	2035	滝川幸子	2024
神津富治男	2024	名倉俊一	2025	塚原三喜夫	2024	白沢 稔	2025	宮川俊晴	2027	石田清典	2029	滝沢克俊	2024
小林久人	2024	林 幸平	2024	土田知則	2023	井井 宏	2024	宮坂邦夫	2032	一宮眞理	2023	瀧沢政規	2023
小松義明	2025	三ツ井克則	2027	寺嶋正明	2024	征矢野進一	2026	宮崎直之	2025	岩崎 章	2028	田口令子	2024
佐藤之俊	2024	三ツ井優子	2027	轟 隆一	2025	高橋淳子	2024	宮澤一幸	2029	上田 潔	2029	武澤美佐子	2025
佐藤一男	2027	宮下研也	2023	長坂武見	2039	田中茂雄	2024	山浦雄一	2023	内山 隆	2024	田中 昇	2026
清水敬介	2029	柳沢秀枝	2032	中澤一治	2027	田中正行	2024	山井 馨	2025	大井 隆	2027	田中由紀子	2024
下村恭子	2030	依田 研	2024	福田礼子	2036	土屋巳紀	2026	山本近雄	2026	大井健太	2027	田村栄治	2027
関 和彦	2023	【75期】		船渡和男	2025	中村建哉	2027	横山佐苗	2023	金井正美	2024	塚田道明	2030
高橋則博	2026	一之瀬康利	2026	保科健二	2028	中村 冠	2025	若林 敏	2025	沓掛正樹	2025	土屋富志夫	2023
高山邦明	2026	井出 淳	2026	松崎 徹	2026	林 融	2025	和田忠彦	2025	小林みゆき	2024	手塚幸次	2026
手塚光彦	2030	今野ゆり子	2023	村田耕作	2030	藤野里美	2026	和田千春	2025	小松康夫	2028	戸叶秀晴	2023
丸山剛生	2025	荻原 上	2023	矢嶋陽介	2024	丸山幸夫	2024	【69期】		小山正樹	2024	仲澤 正	2026
柳沢宗男	2024	片桐敏郎	2074	矢島基美	2029	丸山清光	2023	相場育男	2025	坂口正高	2025	中曾根隆義	2026
山崎利明	2025	川畑久仁子	2028	山崎初美	2027	緑川正博	2028	青柳真二	2024	坂口公一	2024	中村宣夫	2025
山住 昇	2026	小泉行徳	2023	依田 昌樹	2024	【71期】		浅野祐三	2025	坂本正樹	2027	中山正光	2025
渡辺 毅	2025	糀谷陽子	2025	渡邊温子	2029	青木俊幸	2023	荒木久文	2023	高木信一	2025	成澤文和	2023
【78期】		小林正宏	2024	【73期】		青松英男	2026	荒木由美子	2023	高木和幸	2025	西澤省悟	2026
五十嵐紀元	2026	春原一道	2023	青木利之	2025	赤木千江子	2026	池田泰子	2028	高儀早苗	2026	馬場和幸	2025
内田邦子	2049	関 要司	2026	青柳 勤	2023	荒木 亮	2025	池田有美子	2030	田中啓子	2026	原田義則	2032
鵜殿理枝	2023	関口徹雄	2027	石坂敦子	2028	岩下秀子	2027	石橋 務	2023	谷合裕子	2026	牧野泰晴	2026
神林尚秀	2025	大工原潤	2028	梅原裕子	2026	工藤弘文	2026	磯貝隼人	2025	土屋英子	2024	牧野信明	2023
神津裕美	2024	滝澤律夫	2027	大久保政男	2023	小林秀一	2026	磯野玲子	2026	堤 達	2028	丸山敏明	2025
河野えり子	2031	滝沢正登	2024	大貫日出子	2026	小林一輝	2024	上田修司	2026	西川明子	2023	丸山道隆	2025
小林 恒雄	2023	田中賢治	2023	奥田真知子	2024	小林英夫	2023	生方健二郎	2032	林 千春	2025	丸山暢久	2031
小松正行	2024	田村明美	2024	尾台通久	2025	小林孝弘	2024	遠藤和美	2023	原田健治	2025	宮川三	2028
下形悦章	2026	塚田勝彦	2025	掛川治男	2027	小牧秀子	2032	小川 亮夫	2028	松崎秀樹	2023	宮澤 憲一	2025
竹花真理子	2023	手塚 悟	2029	川上幸則	2027	斎藤康博	2027	尾立孝司	2027	松本哲夫	2025	宮原 豊	2035
田村理恵	2028	戸矢崎弘美	2023	河野嘉子	2024	白木一彦	2027	蟹江由美子	2027	丸山博見	2023	村山幸男	2028
中嶋隆夫	2028	樋田成人	2024	棚沢良和	2025	神宮 正	2025	河合 勝	2024	水島良子	2024	森 則雄	2023
西入秀明	2026	中村和久	2025	黒沢孝雄	2026	杉崎経雄	2025	河合紀美子	2024	村越 進	2024	矢島哲夫	2027
星野敦子	2025	平林一央	2029	神津秀章	2025	高木公彦	2033	倉沢 裕	2028	山崎 哲	2027	柳沢賢次	2026
増田則夫	2023	丸山 誓	2026	小須田道彦	2024	茅野昌義	2025	黒崎政和	2025	山下一雄	2033	【66期】	
水野光利	2024	宮島省吾	2027	小平康人	2023	中沢庄平	2024	黒田英臣	2023	山本修士	2026	秋山信悟	2024
宮島剛直	2024	宮島久幸	2026	駒津和彦	2023	中谷夕紀子	2031	桑原邦寿	2031	渡邊信幸	2025	浅野俊二	2024
山崎憲一	2024	小山絹子	2027	小宮山秀樹	2028	新津和明	2024	小池明夫	2026	【68期】		池田頼雄	2025
吉田和子	2029	森 淳夫	2026	酒井利夫	2028	長谷川敏雄	2030	小池宗夫	2025	青沼 正人	2027	石井茂夫	2028
和田剛浩	2025	森岡みどり	2026	塩入 修	2024	増田尚紀	2025	小泉 薫	2024	石井 清	2024	石黒初枝	2024
渡邊 博	2030	柳沢幸治	2031	須賀道郎	2024	南澤 巖	2024	甲田 豊	2028	石井英俊	2025	市川正雄	2023
【79期】		山住卓治	2023	須貝 博	2024	宮崎 徹	2024	小林真人	2026	石垣洋子	2024	大石雄司	2030
井出浩一	2024	山田美紀	2024	関 博幸	2025	望月亮子	2035	近藤正昭	2025	稲寺 隆	2025	大久保健仁	2023
今井 明	2050	横田光幸	2025	芹沢一雄	2027	柳沢幸夫	2033	坂口幸世	2024	井上明美	2023	大塚信郎	2027
荻原 貴	2032	和氣寿子	2023	竹瀝賢一	2035	吉池豊	2030	佐藤介伊三	2025	碓田 茂	2026	岡野洋子	2028
木村範子	2026	和田 匡	2023	土屋秀俊	2023	吉本篤史	2026	清水龍夫	2025	太田康夫	2024	鬼久保潤一	2023
倉沢卓見	2025	【76期】		土屋元一	2027	若林典雄	2024	関 和義	2024	織田辰郎	2024	笠原英明	2028
黒坂 淳	2023	赤池武志	2024	中村節子	2024	和久津智恵子	2027	高橋 実	2024	尾台孝男	2026	北沢 博	2029
小林優子	2023	内山憲一	2024	橋爪尚子	2023	【72期】		高見沢一彦	2027	金子元昭	2032	北澤英男	2024
小林 均	2025	大河園子	2023	橋爪尚子	2023	青沼 泉	2027	龍野 広	2023	鴨田幸枝	2027	北島良男	2026
小松純子	2033	金井一正	2031	橋詰富博	2034	浅沼 徹	2030	土屋文男	2024	工藤敏夫	2029	黒坂正文	2024
坂田尚美	2025	小島 玲	2025	福内 敦	2025	井出 弘	2023	柄原重文	2030	窪田 進	2026	黒柳直幸	2027
笹沢英生	2024	小林忠利	2027	藤田友子	2024	伊藤千瑞子	2032	中澤英和	2023	小林照明	2024	小林周一	2023
佐藤 三枝子	2026	佐藤美恵子	2034	堀内秀雄	2024	今井一郎	2026	西澤孝明	2025	小林 誠	2025	笹澤和平	2030
清水雄至	2031	清水順三	2029	宮澤 誠	2025	岩崎裕治	2023	西嶋 正	2045	小林陽輔	2025	塩野崎英二	2025
鈴木由加	2026	清水純子	2027	宮下克彦	2025	榎本美智子	2023	野口英行	2024	小林 明	2025	清水 理	2025
竹鼻ゆかり	2028	芹澤雄二	2029	柳澤和也	2024	大井信幸	2023	藤谷芳子	2027	小山 実	2027	清水通男	2032
田中秀樹	2027	高池裕子	2025	【74期】		奥山利幸	2025	古畑克巳	2032	佐藤能延	2025	菅沼恵子	2025
鶴澤光晴	2025	田原 計	2027	青木 彰	2026	掛川洋二	2023	細萱文彦	2025	塩野入文雄	2032	清野勝芳	2026
仲村久美	2025	土屋久幸	2023	飯嶋俊樹	2023	柏木敬子	2024	本村龍生	2036	芝間伸剛	2031	関口 信	2023
中村憲治	2026	鶴澤省一	2028	伊藤 寛一郎	2029	金井康志	2029	前田啓子	2024	清水洋一	2040	田口 博	2032
梨子田雅直	2023	鳴沢真一	2026	上原文子	2027	金子恒彦	2030	三塚 隆	2028	杉本真理子	2025	竹内豊和	2029
成田裕夫	2027	成塚健治	2024	大平貴臣	2031	川崎とみ子	2028	箕輪 保幸	2025	春原秀一郎	2026	竹内 進	2025



# 同窓会本部通信

2024年度会員大会日程、年会費クレジット納付取り扱いについて

上田高校同窓会事務局長 手塚和幸 (78期)

今年度の事業計画が3月理事会にて承認をされ、2024年度会員大会は、10月19日(土)に開催をいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。尚、今年度、81期、86期、91期、96期、101期が当番期となります。

また、毎年8月、会報「古城の門」をお届けする際、お願いをしております。本部分年会費の納入について、関東同窓会と同様に同窓会本部

古澤 拳	2025	竹内雅典	2024	近藤弘司	2025	高橋登美恵	2026	西澤 尚	2024
水野高夫	2036	宮下正史	2023	桜木加代子	2023	戸島俊一	2026	西澤澄雄	2024
[105期]		[94期]		相馬 真	2023	中沢直木	2024	西澤敬夫	2025
古谷亀馬	2023	藤松 淳	2027	藤田香織	2024	服部みどり	2025	根岸輝美子	2025
[106期]		[95期]		堀江恵美	2025	馬場信明	2024	根岸 聡	2025
土屋瑞穂	2037	金井信幸	2024	真島隆洋	2026	保科彰治	2032	花岡和道	2024
[107期]		小宮山功一朗	2024	村上真洋	2023	堀内康男	2024	馬場俊彦	2028
甲田英里子	2023	橋本清香	2024	山下知子	2025	水出裕幸	2023	早坂ゆかり	2024
[109期]		[96期]		【86期】		毛利 元晶	2024	堀内嗣浩	2025
櫻井美紀	2023	青木康史	2026	阿部貴子	2024	森 (四方) ゆかり	2025	松尾 弘	2025
[113期]		依田 薫	2023	市川 宏	2024			松木富士子	2024
武井愛衣	2023	[97期]		井上浩一	2026	横関正人	2024	丸山 修	2025
西村和真	2023	石森博行	2032	太田 仁	2024	【82期】		丸山松弥	2024
[114期]		依田久美子	2025	佐藤美那子	2023	井出 智	2026	三宅吾吾	2031
林 奈南	2023	[99期]		関 良基	2024	荻野 健	2026	門司靖子	2025
[115期]		池田美保	2024	滝澤郁雄	2048	加藤民幸	2032	両澤克彦	2025
小林公哉	2023	金井一磨	2026	中沢信明	2026	川口浩一	2025	両角 豊	2023
山極優希	2024	窪田健志	2032	西川美香子	2023	笹沢 和子	2023	山田義治	2023
[116期]		千野理彦	2025	沼田晴夫	2024	重藤知夫	2028	山本雅人	2025
池田侑弥	2023	塚田 学	2026	三好英次	2023	清水るりこ	2024	若林勇文	2025
横須賀まりな	2025	永井洋平	2023	吉池有司	2036	滝沢裕雄	2024	【80期】	
[117期]		矢島好太郎	2023	【87期】		竹鼻健司	2023	會田信子	2037
柳澤理乃	2023	渡辺敏央	2027	太田隆博	2024	西澤知樹	2026	青木琢也	2023
[118期]		【100期】		北村玲子	2031	長谷川浩	2024	新井晶子	2029
北島若葉	2023	甲田英史	2026	窪田直温	2026	平松佳子	2024	飯窪暎子	2026
林 亮太	2023	澤田みつ子	2023	新保一彦	2023	古谷由美子	2024	五十嵐剛	2025
[119期]		關 雅之	2031	関和 一	2026	堀田きよみ	2024	石黒久仁子	2024
原田佳音	2024	滝澤成晃	2024	田中正暁	2024	箕輪博康	2024	伊藤英明	2026
[120期]		田中篤志	2025	永井 博	2024	宮下正巳	2033	今井隆志	2023
竹内千尋	2026	中川央充	2025	【88期】		森いずみ	2024	窪田嘉幸	2025
[121期]		【101期】		柏木美和	2027	山口治美	2027	久保山和彦	2027
丸山優香	2026	青木 史	2024	田中直樹	2026	【83期】		熊野忠則	2028
		佐藤春樹	2027	中越陽子	2024	五十嵐恵子	2025	倉沢 徹	2023
		山極佳代子	2023	中島数晃	2030	内川 智	2023	小林 章	2023
		山崎龍也	2023	溝口節子	2023	榎本かおる	2028	小林敬昌	2026
		【102期】		三井正樹	2026	尾添静子	2029	小山修一	2023
		興水理美	2025	【89期】		倉島茂樹	2031	櫻井規喜	2023
		齋藤昌志	2025	小池拓成	2023	栗林佳紀	2023	鈴木巳季	2030
		島田瑞希	2025	小林幸治	2027	甲田輝久	2024	相馬 淳	2024
		【103期】		関 祐一	2024	村主紀子	2023	龍野和徳	2023
		大谷真宙	2024	野澤郁子	2025	西澤 厚	2023	辻 良美	2025
		小岩井聡美	2032	【90期】		廣松さゆり	2023	土屋陽子	2023
		澤 大輔	2025	飯田茂幸	2024	藤澤賢治	2025	中沢尚之	2024
		竹村淳一	2025	佐藤一道	2023	松尾宗一	2023	中野健治	2033
		中澤一宏	2024	鈴木 礼	2026	三木美和	2029	成田まゆみ	2024
		屋代 有	2026	中曽根慶	2024	宮島克仁	2023	西沢志信	2023
		山崎咲保里	2026	中村妙子	2025	山崎 泰	2023	西谷江美	2024
		依田秀男	2024	成田哲博	2024	若林 努	2024	長谷川剛	2030
		【104期】		増澤吉和	2023	【84期】		花井克之	2032
		荒井恵理奈	2024	【91期】		児玉直美	2025	花岡 健	2024
		有賀 創	2024	高橋麻子	2026	小林数宏	2023	原 久美	2027
		石川翔太	2026	滝澤綾子	2024	小林満奈美	2023	三木睦実	2023
		香山雅子	2023	【92期】		小林 剛	2025	宮原浩貴	2029
		川合健治	2025	河東田美恵	2025	中沢文茂	2029	矢ヶ崎毅	2026
		小林 優	2023	小林則雄	2024	原島麻生美	2023	柳沢孝之	2023
		清水文隆	2025	小山 勇	2023	松本優樹	2027	山崎まゆみ	2025
		高柳賢治	2025	翠川哲也	2027	【85期】		【81期】	
		寺島亞希	2032	【93期】		内田久美子	2024	岡部伸宏	2024
		中村由唯	2025	小川原正道	2023	尾和正登	2023	亀澤 久	2028
		藤井あづみ	2023	阪下千恵	2024	小須田武志	2024	児玉陸美	2024

でも昨年8月よりクレジットカード決済での取り扱いが可能となっております。一般社団法人上田高等学校同窓会「HP」のリンク先からまたはQRコードをスマートフォンで読み込んで「上田高等学校同窓会年会費納入サイト」にお入りいただけます。いつでもどこでもパソコン、スマートフォンで簡単に納入ができますので、ご利用下さい。納入いただいた年会費は同窓会活動はもとより、母校の教育振興のため活用させていただきますので、引き続き、より多くの皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



石森法律事務所 ISHIMORI LAW OFFICE

弁護士 石森 博行 (97期)

〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-1-2  
トラッセルズ102号 石森法律事務所  
TEL: 0422-24-7722 FAX: 050-3737-6939  
E-mail: hiroyuki.ishimori@ishimori-lo.com  
Website: https://www.ishimori-law-office.com/



エミライン社会保険労務士法人

“経営者・従業員”皆様の笑顔ある未来へ  
企業の経営資源である「ヒト」の問題・課題について、  
スタッフ一丸となって貴社の経営をサポートいたします

社会保険労務士 依田 久美子 (97期)

〒106-0031 東京都港区西麻布1-3-16 池田ビル  
TEL: 03-3408-0771 FAX: 03-5474-0013  
URL: https://www.emiline-sr.com/  
E-mail: info@emiline-sr.com



## 年会費納入キャンペーンの結果のご報告 対象期 70 人の皆様から納入をいただきました！

会計長 長坂武見 (72 期)

2023年度も12月から3月  
末まで年会費納入キャンペーン  
を実施しました。

今年度は「年会費納入のお願い」の送付方法・対象期の変更を行いました。昨年度までは文書で郵送するという方法で行っていましたが、コスト削減のためメール送付の方法に変えました。12月にメールアドレスの登録のある83期から120期の会員48人に対して、会長・幹事長・会計長の名前で「納入のお願い」をメールで送付し納入促進を働きかけました（昨年度は69期および対象期の12月71期から82期）。以前8カ月の納入金額よりその後2カ月の納入金額が増加するという成果が出ましたが、元々

納入の少ない対象期ということもあり十分な金額ではありませんでした。

そこで2月に、対象期を追加して69期から82期までのメールアドレスの登録のある会員389人に対して「納入のお願い」をメールで送付しました。一定の成果は表れたものの予算に届かない可能性があったため、更に3月になって69期から82期の一部役員から納入のお願いのメールを追加で送付しました。

その結果キャンペーン期間に対象期合計で70人から410千円の年会費を納入いただき、合計の年会費収入が予算を超過することができました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。そしてキャンペーン期間以外に年会費を納入いただいた皆様にもこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今後のキャンペーンは郵送費用等削減のために、メールでの依頼を継続する予定です。また、メールアドレス登録の皆様へは、本件以外の同窓会からのお知らせや各種イベント情報などをタイムリーにお届けすることを検討中です。会員の皆様におかれましてはメールアドレスの登録をお願いいたします。関東同窓会へのメールアドレスの

連絡方法は次の通りです。  
・ 関東同窓会のホームページ（同窓会への連絡↓同窓会への連絡フォーム）  
・ 左記クレジットカードでの年会費等支払いの際にメールアドレス登録  
・ 会報配布電子化のメールアドレス登録  
（ただし対象期の登録のみ）  
ところで、昨年度から導入しましたクレジットカード払いの年会費・寄付金納付システムは、1年間で120人が利用し755千円を納入いただきました。人数、金額とも年会費・寄付金納入額合計の20%を超える割合となっております。利用者からはスマホやパソコンでいつでも簡単に支払い手続きができると好評です。ぜひ多くの皆様にご利用いただけますようお願い申し上げます。

※右のQRコード、または関東同窓会のホームページから、支払いサイトに入りましたら必ずURLをご確認ください。正しいURLは次のとおりです。  
<https://uedakant-sakura.rakun.jp/>



## 会報配布電子化（試行）の進捗報告

広報委員会 委員長 荻原貴 (79 期)

既にご案内のように、若手会員を中心とする要望、コスト削減、並びにエコ対策として、現在90期以降の皆様を対象に会報配布電子化の試行中です。

2024年3月末時点での会報配布電子化（以下、電子化）への登録者は、会報106号までで102人、会報107号で59人、会報108号で32人、合計193人です。また、この電子化の試行を開始する際に、パイロット試行として81期の皆さま39人に登録の協力をいただきました。これを加えると、現在合計232人が電子化を利用中で、特に問題もなく順調に推移しています。今後もう少し今の条件で試行を重ねながら、電子化の対象期拡大及び「試行」から「本格実施」への移行を図る予定です。電子化を本格実施した場合も、希望者へは従来の「紙配布」を継続します。

なお、電子化登録済みの皆さまにつきましては、引き続き年会費納入もお願い申し上げます。

90期以降で電子化の登録手続きがお済みでない皆さまは、関東同窓会ホームページ（同窓会への連絡→同窓会への連絡フォーム）で随時登録申し込みを受け付けていますので、どうぞご利用ください。電子化を登録された皆さまへは本同窓会からのお知らせや各種イベント情報などをタイムリーにお届けすることも検討中です。（注意：1.この電子化の登録はあくまでもご本人の希望によるものです。2.次号会報（109号・2025年1月発行）から電子化ご希望の場合は、2024年7月末めどに登録申し込みをお願いします）

会報配布電子化（試行）の登録推移	
81期（パイロット登録）	39人①
90期以降	
・会報106号まで	102人
・会報107号	59人
・会報108号	32人
90期以降の合計	193人②
合計（①+②）	232人

**2023年度会務報告案**  
(2023年4月1日)  
2024年3月31日

▼全般

コロナ禍が漸く終息し以前の形式での同窓会活動に戻すことができた。一部はコロナ対策で習得したりリモート会議を取り入れ、予定された行事、会議は全て実施することができた。

▼第62回総会・講演会・懇親会

2023年6月24日如水会館にて開催。75期を中心とした実行委員が運営を担当。コロナ禍以前の形式で開催し、来賓を含めて193名が参加した。金吉晴さん(75期)の講演、母校吹奏楽班の演奏会、4年ぶりの立食形式の食事会(懇親会)を行い、最後に校歌を高らかに斉唱した。

▼2024年新年会

2024年1月20日喜山倶楽部(日本教育会館)にて開催。小林公哉さん(115期)のピアノ演奏とスネアドラムの演奏会を楽しんだ。引き続き、立食形式の食事会(懇親会)を行った。参加者は76名。

▼諸活動

・ゴルフコンペを10月25日(第40回記念大会、小金井CC)に開催。  
・名画貸し切り鑑賞会(銀座「TCC試写室」にて「ひまわり」と食事会を7月8日に開催。参加者17名。  
・赤松小三郎研究会の講演会を11月26日に開催。参加者103名。

・女性同窓生の会(昼食会)を3月30日に開催。参加者13名。

▼会報

5月下旬に第106号、12月下旬に第107号を発行した。

▼年会費納入状況

年会費納入キャンペーンを実施し、2,542,000円で予算比102%と予算を達成した。(前年比98%)

▼基金活用事業

300,000円繰り入れ予算に対して、吹奏楽班招聘費用などに使用した。

**2024年度会務計画案**  
(2024年4月1日)  
2025年3月31日

▼第63回総会・講演会・懇親会

6月29日(土)如水会館にて開催予定。実行委員は76期、81期が中心。

▼2025年新年会

1月18日(土)喜山倶楽部(日本教育会館)にて開催予定。

▼諸活動

・ゴルフコンペを4月と10月に開催予定。  
・赤松小三郎研究会の講演会を11月に開催予定。

▼会報

5月下旬に第108号、12月下旬に第109号を発行予定。

▼基金活用事業

300,000円繰り入れ、第63回総会へのアトラクション費用、年会費納入促進活動、新年会アトラクション費用に活用予定。

**2023年度決算案 (2023年4月1日～2024年3月31日)**

単位:円

収入の部			
科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,046,792	2,046,792	0
総会費収入	1,750,000	1,727,691	-22,309
会報広告料	950,000	870,000	-80,000
年会費収入	2,500,000	2,542,000	42,000
会議費収入	950,000	924,221	-25,779
寄付金収入	650,000	669,500	19,500
雑収入	0	0	0
受取利息収入	0	10	10
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,100,000	7,033,422	-66,578
合計	9,146,792	9,080,214	-66,578

支出の部			
科目	予算	決算	差額
総会費	2,000,000	2,123,735	123,735
会報費	2,450,000	2,489,651	39,651
交通費	170,000	160,685	-9,315
通信費	40,000	44,292	4,292
会議費	1,100,000	1,338,162	238,162
渉外費	150,000	166,875	16,875
印刷費	20,000	5,738	-14,262
事務費	700,000	749,905	49,905
雑費	120,000	171,604	51,604
委員会推進費	50,000	32,070	-17,930
基金活用事業費	300,000	300,000	0
(小計)	7,100,000	7,582,717	482,717
次期繰越金	2,046,792	1,497,497	-549,295
合計	9,146,792	9,080,214	-66,578

**2024年度予算案 (2024年4月1日～2025年3月31日)**

単位:円

収入の部			
科目	2024年度予算	2023年度決算	差額
前期繰越金	1,497,497	2,046,792	-549,295
総会費収入	1,800,000	1,727,691	72,309
会報広告料	900,000	870,000	30,000
年会費収入	2,600,000	2,542,000	58,000
新年会費収入	580,000	541,000	39,000
会議費収入	410,000	383,221	26,779
寄付金収入	700,000	669,500	30,500
雑収入	0	0	0
受取利息収入	10	10	0
基金より繰入	300,000	300,000	0
(小計)	7,290,010	7,033,422	256,588
合計	8,787,507	9,080,214	-292,707

支出の部			
科目	2024年度予算	2023年度決算	差額
総会費	2,070,000	2,123,735	-53,735
会報費	2,450,000	2,489,651	-39,651
交通費	160,000	160,685	-685
通信費	40,000	44,292	-4,292
新年会費	530,000	652,791	-122,791
会議費	640,000	685,371	-45,371
渉外費	155,000	166,875	-11,875
印刷費	5,000	5,738	-738
事務費	750,000	749,905	95
雑費	160,000	171,604	-11,604
委員会推進費	30,000	32,070	-2,070
基金活用事業費	300,000	300,000	0
(小計)	7,290,000	7,582,717	-292,717
次期繰越金	1,497,507	1,497,497	10
合計	8,787,507	9,080,214	-292,707

(注) これまでの会議費収入・会議費を新年会費収入と会議費収入・新年会費と会議費に分けて表示しました

**運営基金 (2023年度決算案)**

単位:円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	9,752,863	0	300,000	9,452,863
同利息	0	74	0	74
合計	9,752,863	74	300,000	9,452,937

**運営基金 (2024年度予算案)**

単位:円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	9,452,937	0	300,000	9,152,937
同利息	0	70	0	70
合計	9,452,937	70	300,000	9,153,007

**運営基金・一般会計総括表 (2024年3月31日現在)**

単位:円

科目	金額	科目	金額
定期預金(スーパー定期)	9,292,973	運営基金	9,452,937
普通預金	159,964		
郵便振替口座	673,662	次期繰越金	1,308,529
普通預金(口座振替用)	601,967		
現金	32,900		
合計	10,761,466		10,761,466

(注) クレジットカードによる年会費収入等の3月中支払い分188,968円は3月31日現在未収入金として処理しています  
定期預金/普通預金 : みずほ銀行 兜町支店  
郵便振替口座 : 日本橋郵便局  
普通預金 : 三菱UFJ銀行 新丸の内支店



# 寄付者／寄付グループ

2023年10月1日～2024年3月31日  
(前回未報告分を含む)

## ご協力ありがとうございました!

期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)	期	氏名	金額(円)
48	小松昭蔵	5,000	57	箱山 雍	10,000	62	秋田 勇	3,000	72	青沼 泉	2,000	75	宮島省吾	2,000
49	小林恒雄	2,000	57	宮下廣勝	2,000	63	山浦善樹	2,000	72	奥山利幸	12,000	76	鳴沢真一	2,000
49	風間 充	5,000	57	高木佳年	3,000	63	内藤秀気	1,000	72	田中 誠	2,000	77	佐藤一男	4,000
49	翠川 輝	2,000	57	本田 健	2,000	64	小林武男	5,000	72	長坂武見	36,000	79	荻原 貴	18,000
50	竹内啓爾	2,000	58	本田祥治	2,000	65	上原 昇	17,000	72	渡邊温子	2,000	79	坂田尚美	2,000
50	小山邦介	5,000	58	宮原清明	2,000	65	丸山暢久	2,000	72	小宮山修邦	5,000	79	小林優子	5,000
51	保坂利勝	2,000	59	有賀勝雄	5,000	65	宮原 豊	5,000	72	青沼 泉	30,000	80	會田信子	2,000
51	蒲生卓磨	5,000	59	小林芳友	2,000	66	北澤英男	3,000	72	村田耕作	1,000	80	鈴木巳季	2,000
53	尾崎俊朗	20,000	60	鷹野芳機	8,000	66	田口 博	3,000	72	矢島基美	20,000	80	花井克之	2,000
53	井澤 保	2,000	60	福嶋 宣	12,000	67	松本哲夫	2,000	72	関 博明	2,000	81	横関正人	1,000
53	須田武久	2,000	60	田中一穂	10,000	68	尾台孝男	2,000	73	梅原裕子	1,000	81	毛利元晶	3,000
53	坂口茂廣	5,000	60	池田 清	10,000	68	碓田 茂	4,000	73	竹淵賢一	3,000		匿名希望	4,000
54	石井光春	12,000	60	香掛行徳	4,000	69	池田有美子	2,000	73	橋詰富博	20,000		匿名希望	10,000
54	倉島 彰	3,000	61	滝澤 進	9,000	69	桑原邦寿	2,000	74	戸塚誠一	2,000			
54	藤村延魚	3,000	62	岩井重一	10,000	69	依田隆文	2,000	75	金 吉晴	30,000			
55	長峰道明	5,000	62	川上千明	2,000	69	古畑克巳	2,000	75	小泉行徳	2,000			
56	成田邦夫	4,000	62	田島善光	1,000	69	桑原邦寿	5,000	75	田中賢治	2,000			
56	神津 進	2,000	62	高梨奉男	6,000	69	近藤正昭	13,000	75	関口徹雄	2,000		合計	492,000

## 訃報

## 心よりお悔やみ申し上げます

期	氏名	逝去日	期	氏名	逝去日	期	氏名	逝去日	期	氏名	逝去日
42	白田 祥二	2023年4月4日	52	佐藤 健一	2023年8月25日	56	堀 英三	2023年1月10日	61	細萱 英久	2023年5月28日
44	中村 強	2023年6月15日	52	和泉 民人	2023年11月7日	56	安田 明	2023年12月5日	62	丸山 茂	2023年10月19日
46	水澤 博	2023年1月24日	52	新保 知右喜	2023年7月8日	57	田沢 雄二郎	2023年10月12日	62	宮島 佑吉	2023年1月25日
46	相澤 忠一	2023年6月26日	53	水出 昭嘉	2023年5月	57	望月 英明	2023年10月12日	64	竹中 司	2023年8月31日
48	今井 正明	2023年6月12日	54	山崎 茂幸	2023年5月5日	58	林 嘉市	2024年1月16日	65	田尻 英敏	2024年1月22日
48	中澤 利雄	2023年6月11日	55	和田 守	2023年11月14日	59	阿部 真之亮	2023年9月5日	68	清水 英昭	2022年10月15日
50	金井 忠雄	2022年11月04日	56	新沼 惇雄	2023年1月13日	60	齋藤 建次	2023年2月	69	土屋 良一	2023年10月07日

### 編集後記

元日の能登半島地震は、自然は人間の都合など関係なしに動いているのだと気がかされた。はて。ウクライナ、中東、ミャンマー、戦争や紛争は人間の都合ではなからうか。防げないものと防げるもの▼今年は波乱の幕開けでした。うえだ人で取材した鳥海さんは、AIなどの登場によって時代はどんどん変化していく。新しい時代についていけるように一緒に頑張りましょう、と話していました。皆さん、いかがでしたか▼今回もなんとか会報をお届けできました。楽しんでいただけましたら。

(中村和久)

### 鶴岡慧子さん(105期)に芸術選奨文部大臣新人賞

文化庁から令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣賞、同新人賞の発表があり、映画部門で、映画監督で同窓の鶴岡慧子さん(105期)に文部科学大臣新人賞が贈られました。

贈賞理由として文化庁は「バカ丁寧」に48工程の手間をかけて生み出される漆器『津軽塗』は『バカ塗り』と呼ばれる。この伝統工芸を継ぐとする娘をじっと見つめる映画『バカ塗りの娘』では、鶴岡慧子氏の胆力に感服させられるとともに、映画もまた、手間暇のかかる、人の手による創作物であることに改めて気付かされる。どつしりと揺るがず伝統を継ぐ氏への期待は高まる」としています。

KONDO TAX ACCOUNTANT OFFICE

こんどう税理士事務所  
相続・保険・不動産に強い税理士事務所

税理士 近藤 弘司 (85期)

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山936号室  
【最寄りの交通機関】 銀座線・半蔵門線 青山一丁目駅から徒歩3分  
Tel : 03-6455-4630 E-mail : kondoh.tax@gmail.com

<https://www.kondoh-tax.com>

### 桜が丘内科クリニック

院長 關 雅之 (100期)

医学博士 リウマチ専門医

〒207-0022 東京都東大和市桜が丘 2-204-3

TEL 042-569-8632 FAX 042-569-8634

Web <https://sakuragaoka-naika.com>

Mail masa-seki@sakuragaoka-naika.com



## AIで社会を覗く

東京大学教授 鳥海不二夫さん (93期)

今回登場していただくのは東京大学で教授として活躍する鳥海不二夫さんです。東京都文京区にある本郷キャンパスで話を伺いました。

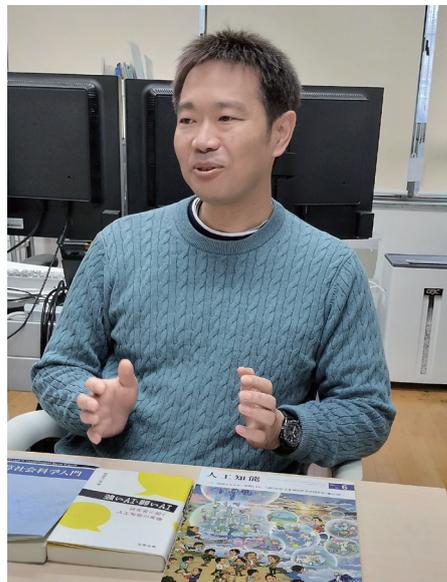
☆☆☆

高校時代の思い出というと、もうずいぶん前なので覚えていることも多くないですが。高校時代は弓道部に所属していました。ちょうど一年生の時に校内に弓道場ができましたので、班活で上田公園の弓道場まで通っていた最後の世代でした。高校生活では班活動が一番楽しかった思い出です。3年のときは受験を意識して、授業よりも受験勉強を中心に勉強していました。といっても受験勉強に真面目だったのか、単に学校の授業をさぼりたかただけなのかは微妙なところでしたけど。授業で印象に残っていることは、3年生の最後の方で物理の先生が授業とは関係ないけれど、質量とエネルギーの等価性を示す  $E=mc^2$  を導出する式を解説してくれたことですね。物理学においてとても重要な式が、実は高校生でも理解できるレベルの式変形で導出できるということに感動しました。そういった受験と関係ない知識を教えてくれる先生も多くいたことが、良い思い出です。

卒業してから東京工業大学に入学し、ロボットを作ってみたかったので制御シ

ステム工学科に入りました。しかし、ロボットはなかなか言う事を聞いてくれず大変だったため、大学院ではロボットはやめて人間の感覚を分析する計量心理学を研究し博士号を取得しました。

今は計算社会学という人間社会そのものを対象とした文理融合型の研究をしています。これは社会科学という学問分野にコンピューターサイエンスや人工知能の技術を導入することで、今まで研究が困難だった分析をできるようにしていく研究分野です。人工知能という新しい技術を使って社会の謎を解いていこうとしていると言っても良いかもしれません。例えば現在社会において大きな問題となっているものの一つに、フェイクニュースがあります。なぜそのような情報が拡散してしまうのか、どうやれば拡散を食い止められるのか、そして何より社会において生じるさまざまな現象が何故起きるのか、それをデータに基づいて理解していくことを目指しています。我々の視線は広いようで意外と狭いものです。全体の一部を見て分かったつもりになってしまふことはよくありますが、全体を網羅するデータを扱うことでより広い視野を手に入れることができます。こうだと思いきんでいたことがデータを調べたら全く違った、ということがよくあり、今ま



で誰も気づかなかった秘密を発見する喜びを味わうことができることがこの研究の醍醐味の一つです。天体望遠鏡の発展が宇宙の謎を解明していったように、データと人工知能の発展が人間社会の謎を今後解き明かしていくようになることを期待しています。

私の研究分野では理系の技術と文系の知識の両方が必要となります。後輩の皆さんには、文系とか理系とかの枠に入らない学問分野もあることを知っていただいで、理系だから、文系だからと考えずに大学でいろいろ知見を広げてほしいと思います。そしていつか私の授業を受け

に来てくれると嬉しいですな。

☆☆☆

朗らかに語っていた鳥海さんが印象的でした。

(構成・鳥海さん、取材日：2024.4.5、編集長・中村和久)



鳥海さんの著書

### 住所変更があったらいずれかでご連絡ください

- ① 関東同窓会ホームページ「同窓会への連絡」から  
(個人情報は厳重に管理しております)
- ② 関東同窓会日本橋事務所へ 電話：03-5201-3979
- ③ 同期の代表幹事へ

### ホームページをご活用下さい

関東同窓会のホームページ (<https://uedakant.sakura.ne.jp/>) には毎日たくさんのアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。ぜひご活用ください。

